

学生による授業アンケート報告書

平成26年度（平成26年度第1学期及び第2学期）

1. 平成26年度のアンケートについて
2. アンケートの実施方法
3. 各教員あて通知内容
4. アンケート用紙の様式
5. 調査対象の解析
6. アンケート結果と解析
7. 総合評点の度数分布
8. 分析のための全体集計

1. 平成 26 年度のアンケートについて

本学は、授業内容や教育方法の改善の組織的活動の一環として、平成 11 年度より毎年学生による「授業アンケート」を全学的に実施し、その結果を公開している。平成 15 年度までは冊子体の報告書（年次報告書に掲載）を刊行した。平成 16 年度からホームページ上のみ公開している。平成 18 年度第 2 学期から、一部設問を変更し 16 の設問によるアンケートが用いられている（注¹）。さらに平成 24 年度から、授業アンケートの実施方法等を見直し、全学教育科目については高等教育推進機構で、学部専門科目については各学部において、それぞれの特性を考慮した独自の授業アンケートを実施している。

本報告は、そのうち高等教育推進機構で平成 26 年度 1 学期と 2 学期に実施された全学教育科目における「授業アンケート」の結果をまとめたものである。両学期を合わせた総授業数は 724（非常勤講師を含む）であり、のべ 29,009 名の学生から回答を得た。さらに、

1. アンケート結果は授業担当者だけではなく、科目責任者にもフィードバックし、教育効果の検証を組織的に行い、授業改善に資することとした。
2. 授業の特性を考慮した設問内容の設定に向け、教養科目（コアカリキュラム）の一部科目を対象に、教育成果に関する独自の設問（コミュニケーション能力、人間や社会の多様性の理解、創造的な思考能力と建設的な批判的能力、社会的責任と普遍的な倫理観の向上度）を追加した。

1.1 回答結果の概要

以下に、平成 26 年度の調査結果の概要を示す。

■各教員に、平成 26 年度に担当している授業科目のうち、適当な一つの科目を選択し、調査を実施するよう依頼した。平成 26 年度第 1 学期および第 2 学期は、担当教員 705 名中 533 名が実施し、実施率は 75.60%（括弧内は同平成 25 年度、平成 24 年度調査結果：74.31%，69.86%）であった。本学教員の実施率は 75.04%（73.63%，67.99%），非常勤講師の実施率は 78.57%（78.10%，79.82%）である。平成 25 年度の結果と比較すると、本学教員、非常勤講師ともに実施率は微増している。アンケートを実施した授業総数は 724（平成 25 年度：659）で、担当教員あたりの延べ実施率は 102.70%（平成 25 年度：95.65%）であった。本学教員も、非常勤講師も 100%を超えており、複数の授業を担当する教員が複数の授業においてアンケートを実施していることがわかる。複数の評価結果を得ることにより、受講する学生の特徴、授業の内容に応じて、詳細結果を検討し、授業改善に役立てようとする教員の努力を伺うことができる結果である。

■総合評価は平成 23 年度まで、学生の行動に関する設問 11～13（出席率、授業への積極的な参加、自習時間）を除いた設問 1～10、設問 14～16 までの評定値の平均を指標としていたが、設問 3～4 は後述するように、授業の質の直接的な評価とはならないので、平成 24 年度から除外している。また、設問 14（シラバスの達成目標の達成度）も平成 24 年度より 5 段階評価から達成割合を定量的に回答するよう変更したので除外している。結果として、総合評価は、設問 1～2、5～10、15～16 の平均値を指標としている。全学教育における総合評価の値は第 1 回調査（平成 11 年度）から一貫して上昇傾向にあったが、今回の全体平均は 4.04 であり、平成 24 年度の 4.01、平成 25 年度の 4.03 からごくわずかな上昇となっている。外国語科目の平均値も、平成 24 年度、25 年度の 4.30、本年度 4.29 となっており、高止まりの傾向がみえる。

■現アンケートには、授業全体に関する評価指標として満足度を問う設問 16 を設定している。5 段階評価の満足度の全体平均は平成 24 年度、25 年度の 4.04 に対して本年度は 4.06 であり大きな変化はない。平均値が最も高いのは演習科目の 4.42（昨年度 4.39）であった。続いて外国語科目の 4.31（4.32）、選択科目の 4.24（4.14）、講義科目 3.99（3.98）必修科目 3.88（3.94）となっている。必修および講義科目は比較的クラスサイズが大きいことと、必修科目には比較的難易度の高い数学・物理などの理系基礎科目が含まれていることが、満足度が比較的低くなる原因と考えられる。

表 1 授業タイプ別「強くそう思う」と「そう思う」を選んだ学生の比率（％）
項目 4、11、13、14 については、それぞれの内容にある通りの集計を行っている

カテゴリ	項目番号	内容	講義科目	演習科目	必修科目	選択科目	外国語	全体 (H26)	全体 (H25)	全体 (H24)
授業について	1	目標、内容、評価方法を明快に示した	80.2	89.3	77.5	86.0	86.8	81.6	80.6	79.4
	2	授業はシラバスにそって行われた	80.2	89.6	78.0	85.5	87.4	81.7	81.1	79.7
	3	レポート等の作業量は適切だった	74.4	79.9	71.7	78.9	82.3	75.2	74.3	74.4
	4	授業の難易度を「C:適切」と回答した学生の割合	51.8	59.6	47.3	59.0	62.0	53.0	53.8	52.4
授業方法、教員の行動	5	教員の説明はわかりやすかった	70.3	86.4	67.0	78.8	83.7	72.8	72.1	71.1
	6	教員の熱意が伝わってきた	74.5	86.6	70.7	82.2	86.0	76.3	75.9	75.4
	7	教員の話し方は聞き取りやすかった	72.5	87.0	69.4	80.3	84.8	74.7	74.7	72.9
	8	教員は効果的に学生参加を促した	59.0	86.5	60.6	66.0	86.9	63.2	60.9	59.6
	9	教員は学生の質問・発言等に適切に対応した	70.2	89.8	71.0	75.6	87.7	73.3	72.8	72.9
	10	黒板、教科書、プリントやAV機器等の効果的利用	73.4	83.8	68.9	81.4	79.2	75.0	73.9	71.7
学生の行動	11	この授業の出席率(80%と100%の合計)	92.3	96.8	93.1	93.0	96.3	93.0	92.1	92.5
	12	自分はこの授業に積極的に参加した	48.3	72.8	49.6	54.6	68.2	52.1	50.3	48.2
	13	授業一回あたりの学習時間(3時間以上)	11.7	17.0	13.1	12.0	11.1	12.5	11.5	10.8
教育効果	14	私はシラバスの到達目標を達成できた(8割以上)	45.6	64.0	43.6	53.5	57.7	48.5	48.1	48.2
	15	知的に刺激され、深く勉強したくなった	63.0	80.4	57.7	74.1	73.1	65.7	64.3	64.2
	16	授業は全体として満足できるものだった	72.6	88.2	68.0	82.3	84.6	75.0	73.9	73.5
回答人数(人)			24,514	4,495	14,838	14,171	5,221	29,009	28,137	25,933

■各設問の回答選択肢の上位 2 項目（「強くそう思う」と「そう思う」）を合わせた比率（項目 4、11、13、14 については、表中の説明通りの集計結果）を表 1 に示した。今回の結果に加えて、全体については過去 2 年分の結果を併記した。全体の割合が最も高いのは、学生の授業への出席率であり、出席率 80%以上が 93.0%を占めており、昨年度と比較をして 0.9 ポイント上昇している。続いて評価が高いのは、「シラバスに沿って授業が行われた」

の 81.7%,「シラバスは授業の目標・内容・評価方法を明快に示した」の 81.6%である。「授業の難易度を「C:適切」と回答した学生の割合」は全項目の中で、唯一昨年からの比率が下がり 53.0%（昨年度比 0.8 ポイント減）となっている。

授業方法、教員の行動に関する評価は、上記項目に比べると若干下がるものの昨年度と比較すると、「教員の話し方は聞き取りやすかった」（昨年度から変化なし）以外、高評価の比率が増えている。特に、「教員は効果的に学生参加を促した」が 2.3 ポイント上昇しており、63.2%となっている。昨年度、高止まりの傾向を指摘した項目ではあるが、学生参加型の授業が徐々に増えていることを伺わせる結果である。

科目別に見てみると、満足度（設問 16）の高い科目（演習科目：88.2%，外国語科目：84.6%）では、満足度の低い科目（講義科目：72.6%，必修科目：68.0%）に比べて、授業方法と教員の行動に対する設問で約 10 ポイント以上、学生参加に関する設問で 16～28 ポイント程度、肯定的な回答の比率が高くなっている。講義科目や必修科目、大人数クラスは、双方向的な授業には向かないものもあると考えられるものの、授業方法と教員の行動に対して変化が求められていることを伺い知る結果となっている。

学生の行動や教育効果に関しては、「質問、発言、調査、自習などにより、この授業に積極的に参加した」が全体で 52.1%,「シラバスの到達目標を 8 割以上達成できた」が 48.5%,「知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった」が 65.7%となっており、昨年度に比べ若干評価は上昇しているものの、授業に積極的に臨むことができず、高い達成感を得ることができない学生が存在することがわかる。授業の満足度に反映されているように、講義科目や必修科目においてその傾向が顕著である。

■授業 1 回あたりに費やした予習・復習の時間（設問 13）は、「30 分以下」が 38.0%（括弧内は同平成 25 年度，平成 24 年度の調査結果を順に記載：40.0%，41.6%），「1 時間」が 30.9%（30.4%，30.3%），「2 時間」が 18.5%（18.0%，17.3%），「3 時間」が 7.3%（7.1%，6.0%），「4 時間以上」が 5.3%（4.4%，4.8%）で、昨年度の調査と比較すると、「30 分以下」が減り、1 時間以上についてはすべて増えている。授業外学修時間の平均^{（注 2）}は、1.20 時間（1.16 時間，1.12 時間）であり、平成 23 年度 2 学期以降では最も高い値を示している。昨年度からの伸びはわずか 2.4 分であり、ここ数年で最も高い値とは言え、頭打ちの傾向となっている。

必修・選択別にみると、必修科目は 1.28 時間（1.28 時間，1.24 時間），選択科目は 1.12 時間（1.04 時間，1.03 時間）となっており、必修科目の方が 9.6 分長くなっている。クラスサイズによっても違いがあり、25 人以下のクラスで 1.38 時間（1.40 時間，1.35 時間），26 人から 50 人で 1.24 時間（1.21 時間，1.18 時間），51 人から 100 人で 1.19 時間（1.15 時間，1.15 時間），101 人から 200 人で 1.22 時間（1.15 時間，0.98 時間），201 人以上で 0.99 時間（0.91 時間，0.90 時間）となっている。昨年度との差を見ると、101 人以上のクラスにおいて授業外学修時間の伸びが比較的大きいことがわかる。

授業形態^(注3)別の授業外学修時間を表2に示した。講義(1単位)、講義(2単位)、外国語、演習の順に授業外学修時間が長くなっている。この傾向は、平成23年度2学期以降同様であり、それぞれの授業形態における学修時間についても大きな経年変化は確認できない。

表2 授業形態による授業外学修時間(単位:時間)

科目区分 授業形態	全学教育科目				
	講義 (1単位)	講義 (2単位)	演習	外国語	実技
平成23年度2学期	0.76	1.19	1.28	1.20	0.70
平成24年度	0.79	1.12	1.31	1.31	0.83
平成25年度	0.82	1.16	1.33	1.28	—
平成26年度	0.83	1.20	1.39	1.32	—

※平成25年度より実技(体育A)は、アンケートの対象外

授業外学修時間に関する設問は、平成18年度第1学期の授業アンケート実施分から、単位の実質化の進展状況を把握する指標のひとつとして導入し^(注4)、調査を継続している。授業外学修時間については、表3が示すように近年4年間は、1.12から1.20時間で推移しており大きな変動はない。さらに長期間の授業外学修時間の経年変化については、高等教育推進機構ニュースレターNo.95^(注5)に詳細が掲載されており、平成18年度から平成22年度にかけて徐々に学修時間が増加し、平成21年度2学期の1.25時間を最高にして、平成22年度以降大きな変動はなく、頭打ちの傾向が続いている。1.2時間程度の授業外学修時間は、大学設置基準や本学通則に定められている学修時間(1回の授業(2単位)時間を2時間として、授業1回当たりの授業外学修時間は4時間)を下回っており、回答者の約7割は、授業1回あたり1時間以下しか予習・復習をしていない。

表3 授業外学修時間の推移(全学教育科目)

	回答者の比率(%)				授業外学修 時間平均値
	1時間以下	2時間	3時間	4時間以上	
平成23年度 (2学期)	70.9	18.2	5.9	4.9	1.15
平成24年度 (1学期・2学期)	71.9	17.3	6.0	4.8	1.12
平成25年度 (1学期・2学期)	70.4	18.0	7.1	4.4	1.16
平成26年度 (1学期・2学期)	69.0	18.5	7.3	5.3	1.20

■総合評点(設問1~2, 5~10, 15~16のアンケート回答数全体の平均値)は、徐々に上昇し、平成24年度には4.01と初めて4を超え、昨年度は、4.03、本年度は4.04であった。

その伸びはごくわずかであり、頭打ちの傾向となっている（8章の評点表参照）。

表4には、非常勤講師が担当する授業を除外した総合評点をもとに分析した過去4年分の結果を示した。本年度、文系科目4.33に対して、理系科目は4.04であり、文高理低の傾向が続いている^(注6)。文系科目、理系科目ともに、評点は微増しているものの、大きな変動はない。文系科目と理系科目の差については、平成24年度以降ごくわずかにその差が広がりつつある。理系科目の総合評点が高くなるような授業改善を行っていく必要を示唆する結果となっている。

表4 総合評価の系別の平均値と標準偏差（SD）

		全学教育全体	全学教育	
			文系	理系
平成23年度2学期	平均値(SD)	4.04 (0.37)	4.20 (0.31)	3.90 (0.36)
	範囲	2.77-4.76	3.36-4.76	2.77-4.57
	授業数	171	81	90
平成24年度	平均値(SD)	4.11 (0.39)	4.22 (0.32)	4.01 (0.41)
	範囲	2.53-4.97	3.23-4.97	2.53-4.86
	授業数	494	228	266
平成25年度	平均値(SD)	4.15 (0.39)	4.27 (0.35)	4.02 (0.40)
	範囲	2.50-4.94	2.55-4.90	2.50-4.94
	授業数	541	269	272
平成26年度	平均値(SD)	4.18 (0.39)	4.33 (0.33)	4.04 (0.40)
	範囲	2.33-5.00	3.21-5.00	2.33-4.94
	授業数	599	289	310

※非常勤講師の担当授業は除外

平成23年度2学期は、設問1～10、設問14～16までの評定値の平均

平成24年度以降は、設問1～2、5～10、15～16の平均値

1.2 授業改善のための取り組み

■教育活動において優れた功績を上げた教員を顕彰する教育総長賞制度が平成23年度に創設された。平成26年度は優秀賞8名、奨励賞30名に同総長賞が授与された。

（紹介ページ：http://www.hokudai.ac.jp/bureau/news/jihou/jihou1504/733_05.html）

■授業改善方策の一環として、平成22年度から一部の全学教育科目の授業参観が可能となった。「授業アンケートによるエクセレント・ティーチャーズ」の担当科目、授業アンケートにおける評価の高い科目、科目責任者が推薦する外国語・理系基礎科目、公開希望があった科目などが対象である。今後とも、教育技術の研修や教員同士の学び合いを促進する手法として、授業参観の意義を周知する努力が必要である。

■平成 21 年度から、複数の大学が参加する学習状況調査（IR ネットワーク）に加わり、毎年 1 年生および 3 年生を対象に共通アンケートを実施している。この調査では、1 週間あたりの自習時間を調査している。平成 26 年度の調査結果では、複数の大学全体の平均値が 1 年生 4.3 時間、上級生（2～4 年生）4.0 時間に対して、本学の 1 年生は 7.9 時間、上級生（3 年生）は 7.2 時間であった。授業時間以外に授業に関係のない勉強する時間も本学は長く、複数の大学全体の平均値が 1 年生 1.7 時間、上級生 2.8 時間に対して、それぞれ 2.2 時間、4.0 時間であった。本学の自習時間が平均値より長いとはいえ、経年変化から伸びを確認することはできない。

（紹介ページ：<http://8gp.high.hokudai.ac.jp/3-houkoku.html>）

■毎年 2 回開催される「全学 FD（教育ワークショップ）」ではシラバスの適切な書き方を学ぶとともに、ELMS（北大版 e-ラーニングシステム）、グループ学習、クリッカーなどのアクティブラーニングの手法が紹介され、教育現場に取り入れられている。

1.3 単位の実質化と総合評価の算出方法

本学は、「単位の実質化」の実現にむけて、GPA 制度の本格的運用と履修単位数の上限設定の導入、全学 FD（教育ワークショップ）で「単位の実質化」を重視した授業設計の実習を行うなど、積極的な取り組みを推進してきた。しかし、授業内容の難易度や課される作業量について、教員と学生の期待や認識に大きなズレがあることが広く知られており、授業外学修時間を増やすための教員の努力が現行の授業アンケートにおける総合評価に好意的に反映されない可能性が示唆されている（注 7）。そこで、平成 24 年度実施分から設問 3（作業量）及び設問 4（難易度）を総合評価の対象から除外した。

この判断の妥当性は毎年確認している。今年度も作業量（設問 3）と難易度（設問 4）、授業外学修時間、総合評価との関係について調べた。表 5 は、授業アンケートの各設問について、回答選択肢ごとの自習時間の平均値を示したものである。難易度については過去 7 年間の結果と同様に「5. 極めて難しい」と回答した学生の平均値が最も高いが、適切な作業量であるのかについては「1. 強くそう思わない」の平均値が最も高く、また 5 つの選択肢の各平均値の差異が小さく、回答選択肢と平均値の間に相関が見られない。具体的には以下のとおりである。

表5 回答選択肢ごとの平均授業外学修時間 a) (全学教育) 平成26年度
各欄の数値は平均値、(標準偏差)、回答者数を示す
網掛け部分は設問毎の最も高い平均値を示す

設問			回答選択肢 ^{b)}				
内容		番号	1	2	3	4	5
A 授業 内容	授業目標、内容、評価方法が明快なシラバス	Q1	1.11 (1.20) 273	1.10 (1.00) 364	1.11 (0.89) 4,656	1.12 (0.96) 11,787	1.33 (1.20) 11,698
	シラバスに沿って行われた	Q2	1.10 (1.18) 236	1.07 (1.00) 421	1.14 (0.92) 4,625	1.12 (0.96) 11,422	1.31 (1.18) 12,089
	適切な作業量	Q3	1.48 (1.29) 523	1.38 (1.07) 1,175	1.15 (0.93) 5,443	1.15 (0.97) 9,756	1.24 (1.16) 11,915
	難易度 ^{c)}	Q4	0.80 (1.04) 250	0.91 (0.85) 1,345	1.07 (0.93) 15,295	1.27 (1.03) 8,829	1.81 (1.49) 3,118
	難易度(変換) ^{d)}		1.73 (1.48) 3,368	—	1.22 (1.02) 10,174	—	1.07 (0.93) 15,295
	B 授業 手法・ 教員の 行動	わかりやすい説明	Q5	0.97 (1.02) 699	0.96 (0.86) 1,545	1.12 (0.91) 5,602	1.14 (0.98) 10,226
熱意が伝わった		Q6	1.00 (1.04) 487	0.97 (0.91) 1,028	1.12 (0.90) 5,326	1.14 (0.99) 9,774	1.32 (1.17) 12,244
聞き取りやすい		Q7	1.00 (1.03) 632	0.98 (0.88) 1,468	1.13 (0.93) 5,199	1.15 (0.99) 9,496	1.31 (1.17) 12,061
参加を促進		Q8	0.76 (0.89) 887	0.78 (0.79) 2,252	1.02 (0.87) 7,473	1.23 (1.01) 8,515	1.46 (1.22) 9,721
適切な対応		Q9	1.01 (1.10) 409	0.93 (0.90) 887	1.02 (0.89) 6,424	1.15 (0.97) 9,565	1.38 (1.19) 11,551
適切な機器使用		Q10	0.94 (0.98) 500	1.02 (0.92) 1,102	1.15 (0.92) 5,612	1.14 (0.98) 9,987	1.31 (1.19) 11,615
C 学 生 の 行 動	出席率 ^{e)}	Q11	0.62 (0.86) 141	1.20 (1.05) 169	1.46 (0.95) 1,697	1.11 (1.00) 8,030	1.22 (1.09) 18,813
	積極的な授業参加	Q12	0.53 (0.71) 1,142	0.68 (0.68) 2,767	0.97 (0.82) 9,803	1.33 (1.00) 8,878	1.77 (1.34) 6,066
D 教 育 効 果	知的刺激、学習意欲向上	Q15	0.87 (0.97) 1,001	0.81 (0.78) 1,641	1.04 (0.86) 7,248	1.18 (0.99) 10,554	1.49 (1.27) 8,368
	満足度	Q16	1.00 (1.06) 712	0.97 (0.90) 1,114	1.09 (0.88) 5,392	1.14 (0.97) 10,203	1.35 (1.20) 11,390

- a) 0.25=30分以下, 1=1時間, 2=2時間, 3=3時間, 4=4時間以上 として計算した
b) 1=強くそう思わない, 2=そうは思わない, 3=どちらともいえない, 4=そう思う, 5=強くそう思う
c) 1=極めてやさしい, 2=やさしい, 3=適切, 4=難しい, 5=極めて難しい
d) 1=極めてやさしい+極めて難しい, 3=やさしい+難しい, 5=適切
e) 1=20%, 2=40%, 3=60%, 4=80%, 5=100%

● 設問 3「授業で要求される作業量は適切であった」（表 6）

回答者の 75.2%が「適切だった」（「強くそう思う」か「そう思う」を選択）と回答し、これらの学生の授業外学修時間の平均は 1.20 時間であるのに対し、「不適切だった」（「強くそう思わない」か「そう思わない」を選択）と回答した 5.9%の学生の授業外学修時間の平均は、1.41 時間であった。つまり、学生が考える適切な作業量は、授業外学修時間の平均である 1.2 時間程度で完了できるものであり、それ以上時間を要すると課題の量が多く、完成に時間がかかるので不適切だと判断していると解釈することができる。また、「どちらともいえない」や「そう思う」を選択した学生の授業外学修時間は、それぞれ 1.11 時間、1.10 時間と比較的短いので、この中には課題量を物足りないと感じている学生も存在していると考えられる。よってこの項目で高評価を得る授業は、1.2 時間程度で完成することができる作業を課しているという結論になり、単位の実質化の目指す方向と矛盾する。

● 設問 4「授業内容の難易度は適切であった」

「極めて難しい」と回答した学生の授業外学修時間の平均は 1.81 時間、「難しい」が 1.27 時間、「適切」が 1.07 時間であり、以下「やさしい」と「極めて優しい」がそれぞれ 0.91 時間、0.80 時間と 1 時間以下となっており、難易度と授業外学修時間には正の相関がある。また、「適切」を評価 5、「難しい」と「やさしい」を評価 3、「極めて難しい」と「極めてやさしい」を評価 1 と換算して結果を見てみると、「適切」と回答した授業外学修時間が一番短く 1.07 時間となる。理想は、「適切」と評価する学生の授業外学修時間が最も長くなることではあるが、結果が示す通り評価に授業外学修時間の長さが反映されない。

以上のことから、過去 7 年間とおおよそ同様に、「作業量」と「難易度」の回答に対する評点が、単位の実質化のめざす方向と矛盾していることが示唆されている（注 7）。一方、表 5 の設問 3, 4 以外に注目すると、よい授業だと評価している学生は自習時間が多い傾向、または自習時間が長い学生は授業を好意的に評価する傾向があることを示しており、単位の実質化の効果を支持する結果といえる。これらの結果から、設問 3, 4 を総合評価から除外することの妥当性が今回の結果からも示された。

「学生の行動」については、直接授業の評価には関係しないので評価から除いているものの、出席率と授業への積極的な参加度については興味深い結果となっている（表 5）。出席率に関しては、高い学生よりも 60%程度の学生の授業外学修時間が長いことがわかる。適度に欠席をした方が、欠席した分を補おうとより授業外学修に時間をかけていると想像することができる。欠席率 60%程度の学生は、単に怠けているのではなく、授業についていこうと努力する様子を伺うことができる結果である。

表 6 設問 3 回答選択肢ごとの平均授業外学修時間の経年変化（全学教育）^{a)}
 網掛け部分は年度毎の最も高い平均値，あるいは値が近い場合は上位 2 つの平均値を示す。

設問 3 ^{b)}	授業で要求される作業量(レポート、課題、予習・復習など)は適切であった				
	強くそう思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	強くそう思う
H18 ^{c)}	1.20 (1.03) 487	1.22 (0.97) 1,336	1.01 (0.78) 7,353	1.02 (0.81) 7,127	1.13 (0.98) 6,981
H19	1.35 (1.15) 1,012	1.16 (0.92) 2,921	1.08 (0.80) 13,536	1.05 (0.81) 16,547	1.16 (1.00) 16,547
H20	1.32 (1.14) 965	1.18 (0.88) 2,770	1.12 (0.80) 14,011	1.11 (0.82) 17,001	1.22 (1.04) 17,779
H21	1.68 (1.32) 969	1.30 (0.97) 2,379	1.18 (0.81) 12,741	1.19 (0.86) 16,776	1.31 (1.06) 17,848
H22	1.39 (1.11) 834	1.33 (0.96) 2,288	1.26 (0.83) 12,129	1.25 (0.88) 16,845	1.41 (1.11) 18,105
H23	1.52 (1.19) 698	1.37 (0.99) 2,024	1.26 (0.83) 11,132	1.28 (0.89) 16,476	1.45 (1.14) 18,424
H23 ^{d)} (2学期のみ)	1.51 (1.46) 129	1.22 (1.07) 398	1.08 (0.90) 1,939	1.10 (0.93) 3,017	1.22 (1.13) 3,889
H24 ^{d)}	1.43 (1.30) 365	1.25 (1.08) 1,076	1.09 (0.92) 5,146	1.07 (0.93) 8,554	1.17 (1.13) 10,559
H25 ^{d)}	1.58 (1.31) 452	1.30 (1.06) 1,211	1.12 (0.92) 5,502	1.11 (0.97) 9,377	1.18 (1.10) 11,381
H26 ^{d)}	1.48 (1.29) 523	1.38 (1.07) 1,175	1.15 (0.93) 5,443	1.15 (0.97) 9,756	1.24 (1.16) 11,915

- a) 各欄の数値は平均値，(標準偏差)，回答者数を示す
 b) 旧授業アンケートの場合は設問 11
 c) 旧授業アンケートによる H18 年度前期の回答者のみ
 d) H23 年度 2 学期 (H23-2) と H24 年度以降は全学教育科目のみの分析結果

「単位の実質化」は，教員の理解や教授法の改善に加え，学生がその意義を理解していなければ実現は困難である。大多数の学生は，依然として授業外学修時間は 1 時間程度が「適切」と考えており，単位の実質化に相応する作業量に対しては「強く不適切」と考えている。単位の実質化が求める授業外学修時間を「適切」と感じるような学習環境と学生文化への転換が望まれる。

1.4 汎用的能力に関する追加設問の回答結果概要

授業の特性を考慮した設問内容の設定に向けて、汎用的能力の教育成果に関する 4 つの設問（コミュニケーション能力、人間や社会の多様性の理解、創造的な思考能力と建設的な批判的能力、社会的責任と普遍的な倫理観の向上度）を追加設問として教養科目（コアカリキュラム）の一部科目を対象に調査を依頼してきた。平成 24 年度第 1 学期に試験的に実施し、平成 25 年度第 2 学期からは試行として実施している。本年度は 131 科目から回答を得た。4 つの設問の内、どの設問を追加設問とするかは、教員に任されており、必ずしもすべてに回答しているとは限らない。以下に、平成 26 年度の調査結果の概要を示す。

■設問は、「この授業を受講して、下記の「追加設問 1～4」に示した能力・理解・認識が向上したと思いますか？」となっており、5 段階評価（5：かなり向上した、4：少し向上した、3：どちらともいえない、2：あまり向上しなかった、1：向上しなかった）で回答する。各設問は以下の通りである。

1) コミュニケーション能力

（自分の考えを的確に表現し、他者と相互にアイディアを交換できる）

2) 人間や社会の多様性の理解

（世の中には、様々な価値観を持った人々や社会が存在していることを受け止める）

3) 創造的な思考能力と建設的な批判的能力

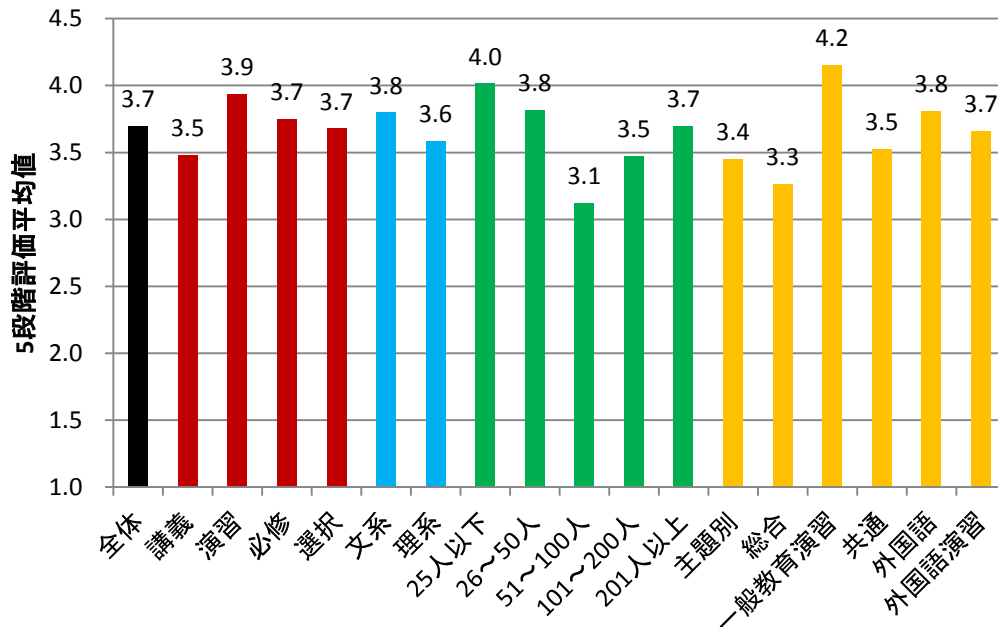
（根拠にもとづく推論、矛盾をどのように解決するか、公平で的確な判断をどのように行うか、などを考える）

4) 社会的責任と普遍的な倫理観

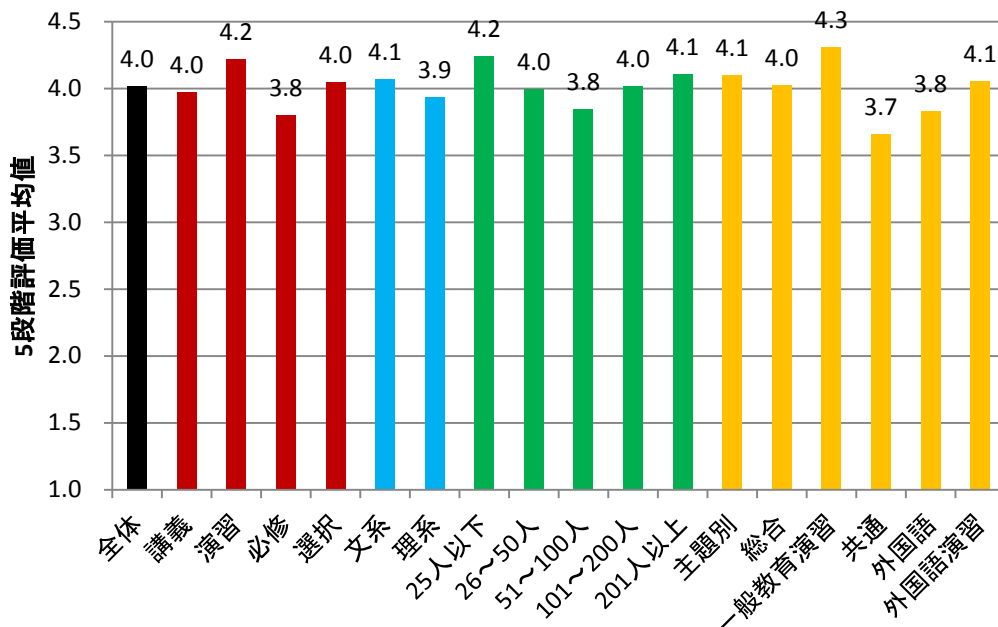
（人間としてあるいは市民としての責任と倫理の自覚）

■4 つの設問それぞれについて、5 段階評価の平均値を「講義／演習／必修／選択」科目別、「文系／理系」別、「クラスサイズ」別、「科目区分」別に求め、グラフ化した（図 1）。

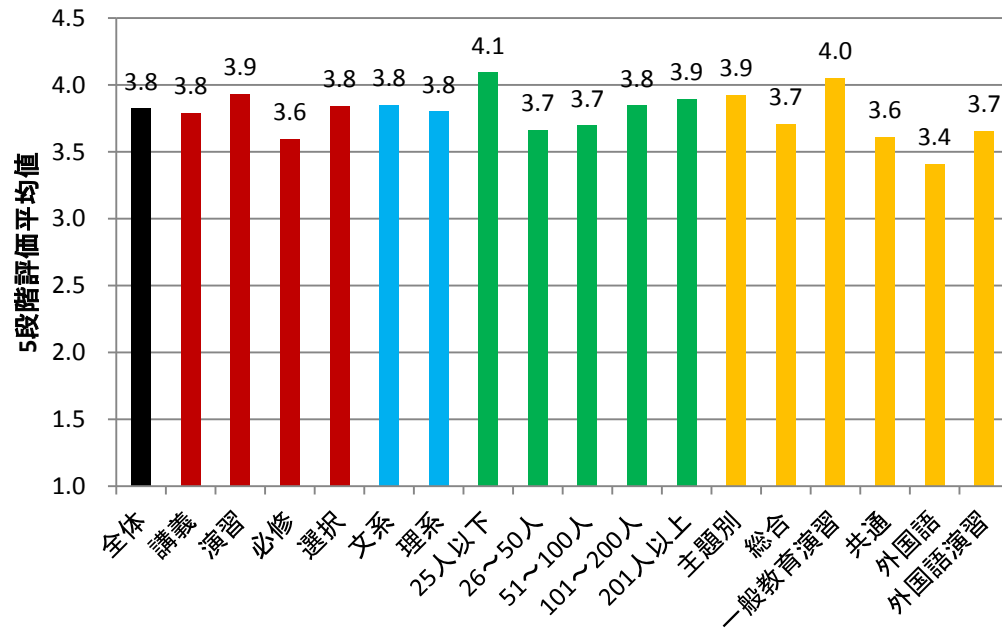
コミュニケーション能力



人間や社会の多様性の理解



創造的な思考能力と建設的な批判能力



社会的責任と普遍的な倫理観

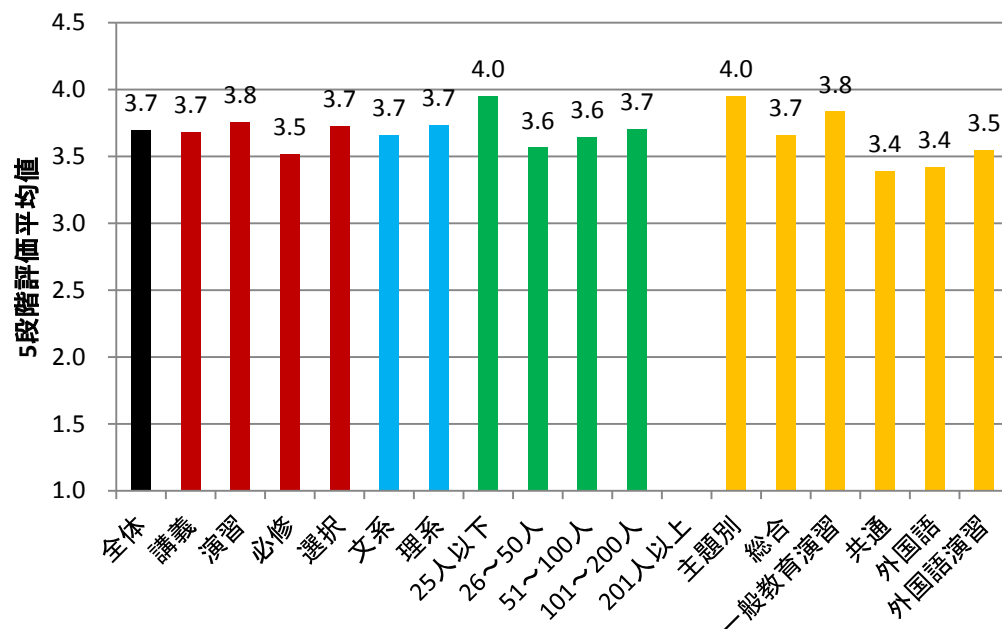


図1 汎用的能力に関する4つの質問の平均評点

■ 4 つの質問の全体平均を比較し、評点の順に並べると、「コミュニケーション能力（評価平均値：3.695）」、「社会的責任と普遍的な倫理観（3.699）」、「創造的な思考能力と建設的な批判的能力（3.823）」、「人間や社会の多様性の理解（4.019）」となる。「コミュニケーション能力」については、各分類における平均値のばらつきがあり、他 3 つの質問に比べて、グラフの凸凹が目立っている。表 7 には、各設問の回答者数と標準偏差を示した。以下、各設問ごとに詳細を議論する。

表 7 各設問の回答者人数と回答の標準偏差

設問	回答者人数(人)	標準偏差
コミュニケーション能力	2,234	1.01
人間や社会の多様性の理解	3,303	0.93
創造的な思考能力と建設的な批判的能力	2,496	0.91
社会的責任と普遍的な倫理観	1,510	1.00

■ 「コミュニケーション能力」については、グラフの分類ごとの評価平均値差が大きい。質問の補足説明は、「自分の考えを的確に表現し、他者と相互にアイデアを交換できる」となっており、自己評価し易いことも影響していると考えられる。評価平均値が最も高いのは、「一般教育演習」の 4.2 であった。一般教育演習が分類されている「演習科目」、「クラスサイズ 25 人以下」も当然評価が高い。一般教育演習の開講のねらいには、「… 学生との意見交換、討論などの双方向的な授業によって、それぞれの関心、学修レベル、個性に応じた問題解決能力を育成する。…」と掲げられている。また、「教員と学生、学生相互の人的ふれあいを通じて新入生が大学という新しい環境に早期に適応できるような条件をつくる…」ともある。授業開講の意図が学生によく伝わり、授業内容もコミュニケーション能力の獲得に沿ったものになり、自己評価も非常に高くなっていることがわかる。クラスサイズについては、「25 人以下」の少人数の評価が高く 4.0 となっている。サイズが大きくなると評価が下がり、「51～100 人」では 3.1 となる。さらにサイズが大きくなると評価は上がり「201 人以上」で 3.7 となる。小さいほど評価が高くなる傾向はあるものの、「51～100 人」よりも「101～200 人」の評価が高くなっている。大きなクラスサイズであっても、特定の授業においては、グループワークを積極的に行うなどしてコミュニケーション能力を獲得させる工夫を行っている結果であろう。回答する学生にとっては、授業の内容に沿って、自己評価し易い質問項目であるために、グラフにある分類ごとの差が他の質問に比べて明確に現れたと考えられる。

■ 「人間や社会の多様性の理解」の補足説明は、「世の中には、様々な価値観を持った人々や社会が存在していることを受け止める」である。この質問は、各分類における平均値はあまり変わらず、回答のばらつき（標準偏差 0.93, 表 7 参照）も比較的小さいことがわかる。この質問に対して学生は、個別の授業により得ることができる能力というよりも、受

講している様々な授業全般を通じて得ることができた能力と自己評価していることが伺える。

■「創造的な思考能力と建設的な批判的能力」については、各分類の平均値のばらつき、評価値ともに中庸な結果となっている。質問の補足説明には、「根拠にもとづく推論、矛盾をどのように解決するか、公平で的確な判断をどのように行うか、などを考える」とある。「コミュニケーション能力」などに比べると、具体的ではなく自己評価の難しい質問内容になっており、その影響が数値にも表れていると考えられる。少人数クラス、「一般教育演習（評価平均値：4.0）」、「25人以下」のクラス（評価平均値：4.1）の評価値は高く、これらに分類される授業が、この能力の獲得に貢献していることがわかる。

■「社会的責任と普遍的な倫理観」については、「人間や社会の多様性の理解」と同様に、グラフにある各分類における平均値はあまり変わらないが、回答のばらつき（標準偏差 1.00）は比較的大きい（表 7）。「5：かなり向上した」と回答した授業に絞って見ると、総合科目（特に「環境と人間」と授業名に「環境」のキーワードが入っている授業が目立つ。この質問では、「人間としてあるいは市民としての責任と倫理の自覚」と補足しており、具体的事例として、環境に関する問題は学生にとっても理解し易く、授業内容も、「社会的責任と普遍的な倫理観」を意識したものになっていると考えられる。その他の授業については、「社会的責任」や「倫理観」をトピックスとして具体的に取り上げない限り、学生がこれらを認識し、自覚することは難しいと考えられる。評価平均値も他の設問に比べ全体的に低くなっていることがわかる。

■まとめると、これらの4つの能力の獲得について高評価の授業は、「演習」、「少人数クラス」、「主題別科目」（「コミュニケーション能力」を除く）、「一般教育演習」に分類される授業であることがわかる。

注

1. 新旧設問の対照表は下記の URL を参照。
<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/tenken/hokoku/2008/s1/01.html>
2. 30 分以下=0.25, 1 時間=1, 2 時間=2, 3 時間=3, 4 時間以上=4 (単位: 時間), に変換して計算した。
3. アンケート提出票 (教員用) の授業の形態に関する質問への回答 (1=講義, 2=演習) に基づき分類した。
4. 高等教育機能開発総合センター『センターニュース』第 74 号, 2008, pp.1-5
参照 URL : <http://socyو.high.hokudai.ac.jp/cnews/74.pdf>
5. 高等教育推進機構『ニュースレター』第 95 号, 2013, pp.5-6
参照 URL : <http://socyو.high.hokudai.ac.jp/cnews/95.pdf>
6. 文系と理系は, 授業担当教員の所属部局で区別している。
7. 北海道大学評価室(2008)「学生による授業アンケート報告書」(平成 19 年度)
北海道大学評価室(2009)「学生による授業アンケート報告書」(平成 20 年度)
北海道大学評価室(2010)「学生による授業アンケート報告書」(平成 21 年度)
北海道大学評価室(2011)「学生による授業アンケート報告書」(平成 22 年度)
北海道大学高等教育推進機構(2012)「学生による授業アンケート報告書」(平成 23 年度)
北海道大学高等教育推進機構(2013)「学生による授業アンケート報告書」(平成 24 年度)
北海道大学高等教育推進機構(2014)「学生による授業アンケート報告書」(平成 25 年度)
参照 URL :
<http://www.hokudai.ac.jp/pr/tenken/tenken/self/jugyo/> (平成 23 年度 1 学期期まで)
<http://educate.academic.hokudai.ac.jp/center/enquete/enquete.htm>
(平成 23 年度 2 学期以降)

2. アンケートの実施方法

対象となる授業

平成26年度第1学期及び第2学期に開講された全学教育科目を対象とした。
分析に際し、各授業を以下のように分類した。

- ・ 授業形態：講義、演習
- ・ 科目区分：一般教育演習，外国語演習，外国語科目，基礎科目，共通科目，主題別科目，総合科目，日本語科目及び日本事情に関する科目
- ・ 必修、選択の別
- ・ 受講登録学生数（クラスサイズ）：25人以下，26～50人，51人～100人，101～200人，201人以上

実施方法

各教員が平成26年度に担当している授業科目のうち適当な1つの科目を選択し、授業中にアンケート用紙を配布した。用紙の回収は原則として学生が行い、学務部学務企画課に直接提出する方法とした。

設問について

アンケートの設問は、A：「授業内容に関する項目」、B：「授業手法、教員の行動」、C：「受講者の行動」、D：「教育効果」に分類した。

なお、アンケートは、全授業に対して一律の設問及び回答の選択肢であるため、授業固有の項目に関して教員が独自に設定した質問に学生が答えるという形式のアンケートを付加し、担当教員の判断で実施することができるようになっている。

汎用的能力に関する追加設問について

全学教育が掲げる教育目標の達成度を検証するため、教養科目（コアカリキュラム）を対象として、従来の授業アンケートの設問に加えて汎用的能力に関する追加設問をコアカリキュラムを担当する教員のうちから、前後期各100名程度に協力を依頼し実施した。

4つの追加設問（①コミュニケーション能力，②人間や社会の多様性の理解，③創造的な思考能力と建設的な批判能力，④社会的責任と普遍的な倫理観）の中から担当する授業内容に該当する設問を一つ以上指定し、学生にはその設問のみ回答させた。

3. 各教員あて通知内容

集計表

フィードバック用の集計表では、各教員は、自分の授業の総合評点（主要設問について学生が回答した評点の合計を回答学生数（無回答を除く延べ数）で除したもの）で、全学教育平均・講義科目平均・演習科目平均・必修科目平均・選択科目平均と比較することになる。

また、通常の設問項目のほかに、その授業に固有の項目に関して教員個人が質問を設定した場合には、「追加設問」の欄に5段階の評点が表示される。

各教員あて通知内容

「平成25年度（第1学期及び第2学期通年分）全学教育科目に係る授業アンケート」集計表

部署名：○○○○○

氏名：○○○○○

科目名：一般教育演習（フレッシュマンセミナー）（○○○○○○○○○）

授業形態：演習

科目区分：全学教育科目（一般教育演習）

必修・選択：選択

提出枚数：○○

登録学生数：○○人以下

設問内容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	5段階評点 の平均値	全学教育 平均値	講義科目 平均値	演習科目 平均値	必修科目 平均値	選択科目 平均値
1. シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。												
2. 授業はシラバスにそって行われていた。												
5. 教員の説明はわかりやすかった。												
6. 教員の熱意が伝わってきた。												
7. 教員の話し方は聞き取りやすかった。												
8. 教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。												
9. 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。												
10. 黒板、教科書、プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった。												
15. 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。												
16. 授業は全体として満足できるものであった。												
平均値 (%)							総合評点*					

* 総合評点：上欄の10個の設問項目について学生が回答した評点の合計を回答学生数（無回答を除く延べ数）で除したもの

設問内容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	5段階評点 の平均値	全学教育 平均値	講義科目 平均値	演習科目 平均値	必修科目 平均値	選択科目 平均値
3. 授業で要求される作業量（レポート、課題、予習・復習など）は適切であった。												
4. 授業内容の難易度は適切であった。												
11. この授業の自分の出席率は（ ）%程度であった。												
12. 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。												
13. この授業1回（90分）のための予習・復習に費やした時間は平均（ ）であった。												

設問内容	10 (%)	9 (%)	8 (%)	7 (%)	6 (%)	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	0 (%)	無回答 (%)	10段階評点 の平均値	全学教育 平均値	講義科目 平均値	演習科目 平均値	必修科目 平均値	選択科目 平均値
14. シラバスに記載されている到達目標は、（ ）割程度達成できた。																		

※ 評点については次のとおりとする。

- ① 設問1～3、5～10、12、15～16 : 「5・4・3・2・1」は、「強くそう思う・そう思う・どちらともいえない・そうは思わない・強くそう思わない」を意味する。
② 設問4 : 「5・4・3・2・1」は、「A:極めて難しい・B:難しい・C:適切・D:やさしい・E:極めてやさしい」を意味する。なお、平均値は「C→5・BD→3・AE→1」として算出。
③ 設問11 : 「5・4・3・2・1」は、「A:100%・B:80%・C:60%・D:40%・E:20%」を意味する。
④ 設問13 : 「5・4・3・2・1」は、「A:4時間以上・B:3時間・C:2時間・D:1時間・E:30分以下」を意味する。
⑤ 設問14 : 「10・9・8・7・6・5・4・3・2・1・0」は、「10割・9割・8割・7割・6割・5割・4割・3割・2割・1割・0割」を意味する。

追加設問

設問内容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	5段階評点 の平均値
1. コミュニケーション能力							
2. 人間や社会の多様性の理解							
3. 創造的な思考能力と建設的な批判能力							
4. 社会的責任と普遍的な倫理観							
5.							
6.							
7.							
8.							

依頼した追加設問の評価は次の通り

「5・4・3・2・1」は、「かなり向上した・少し向上した・どちらともいえない・あまり向上しなかった・向上しなかった」を意味する。

※設問及び回答の選択肢は教員各自が設定しているため空欄となっている。

4. アンケート用紙の様式

平成26年12月8日

《部局名》
《氏名》 殿

高等教育推進機構長 新 田 孝 彦

全学教育科目に係る授業アンケートの実施について（依頼）

高等教育推進機構では、授業改善を図る目的で学生の意見を授業担当教員にフィードバックしております。

つきましては、別添の封筒に封入されている実施要領を参照の上、平成26年度第2学期の下記授業科目（講義又は演習）の中から一科目を選び、授業アンケートを実施願います。本アンケートは少なくとも1年間に一科目について必ず実施してください。複数科目で実施しても構いません。

なお、アンケート用紙が不足する場合や英語版のアンケート用紙が必要な場合は別途送付しますので、下記担当まで連絡願います。

また、アンケートの集計結果は、実施教員及び所属部局等の長並びに科目責任者に通知します。

おって、アンケートの質問項目に対する回答結果から、①授業にどのような問題点があると考えられるか、②その問題点を改善するために具体的に何を行う予定か、またはすでに行ったか、③高い評価を得た質問項目から、他の授業の改善に役立つ点はないか、について科目責任者を中心に検討し報告書を提出していただくこととしており、報告書は高等教育推進機構のホームページへ掲載する予定です。

また、希望する教員は、どのように教育改善に取り組んでいるか、シラバスの備考欄に記入することも自由です。

これらは次期認証評価を受ける上で重要な評価項目になっておりますので、是非ご協力願います。

記

対象となる授業科目（平成26年度第2学期）

時間割番号	科目名	曜日講時
< 678901	△△△演習	火2 >
< 234567		水1 >
< 890123	++++++	水2 >
< 456789	*****	木4 >
< 024680	xxxxxx	金1 >

※ 封筒に入っている用紙類は下記のとおりです。

- ① 授業アンケートの実施要領（教員用）・・・緑色
- ② 授業アンケート提出票（教員用）・・・・・・ピンク色 ※【教員が記入】
- ③ 授業アンケート・・・・・・・・・・白色（50枚）

全学教育科目 授業アンケートの実施要領（教員用）

（アンケートの実施前に必ずお読みください）

この実施要領は、アンケート調査の対象者である当該授業の受講生に、このアンケートの趣旨を理解し、協力してもらうためのものです。事情の許す限り、要領に従ってアンケートを実施してください。

なお、より公正な取扱いを行うため、アンケートの回収、密封、提出は原則として学生に行わせることとしますので、下記の「アンケートの実施方法」を良く読み、学生に適切な指示を行ってください。

アンケートの実施方法

1. 当該授業のなるべく終わりの時期、できれば最後の授業で実施し、アンケート記入のために最低10分間の時間を確保してください。

2. 教員はアンケートを実施する前に、ピンク色の「アンケート提出票（教員用）」に必要事項を記入し、回収用封筒に入れてください。

なお、アンケート用紙が不足する場合には、学務部（学務企画課教育支援担当 又は 教育推進課全学教育担当）に申し出てください。

両面コピーで増刷することは構いませんが、以前に配付された古いアンケート用紙は設問が異なるので使用しないでください。

3. アンケート用紙を配布したら、以下のような説明を行ってください。

- 1) これから、授業アンケート調査を実施します。このアンケートは本学の授業を改善するために毎年行われているもので、それぞれの教員は自分の担当する授業の少なくとも1年間に一つを選択して実施することになっています。本年は、この授業において実施することにいたしましたので、ご協力をお願いします。
 - 2) ここで行われたアンケートの結果は、担当の教員とその教員の所属部局等に送り、次年度以降の授業の改善のために利用されます。将来この科目を履修する学生諸君のためになるものですので、与えられた時間を十分に使って、公正で客観的な評価を行ってください。また、裏面の自由記述欄には、できるだけ授業の改善に役に立つようなコメントを書いてください。
 - 3) なお、このアンケートは、公正な取扱いを行うために、受講生の代表が回収し、この場で封をして、高等教育推進機構E棟1階8番窓口に届けてもらいます。教員はこのアンケートの記入・回収の際には講義室を退出しますので、代表として指名された方はよろしくご協力をお願いします。

4. 回収を担当する受講生を2名程度指名の上、回収用封筒表面に記載の「アンケートの回収方法」に従いアンケートを回収し、学務部教育推進課（全学教育担当）（高等教育推進機構E棟1階8番窓口）へ提出するよう指示してください。

ただし、5講時の終了時等で上記の窓口が閉まっている場合は、アンケート終了後、受講生の代表に密封した回収用封筒を研究室に持参させるなど、適宜の方法により教員が受け取り、学内便等により学務部学務企画課（教育支援担当）へ提出してください。（教員が提出する場合や、事情により講義室に残る場合は、その旨学生に説明してください。）

5. 受講生に、記入済みアンケート用紙の提出場所（高等教育推進機構E棟1階8番窓口、代表者、机の上など）を指示し、教員は講義室を退出してください。

【裏面に続く】

6. 複数の教員で担当する講義の場合

授業に複数の教員が参加するチーム担当授業、複数の教員で担当する統合講義又は総合講義形式等となっている場合は、原則として責任教員が授業全体についてアンケートを実施し、その旨学生に説明してください。（責任教員以外の教員が代理で実施する場合でも、アンケート提出票等には責任教員の氏名を記入してください。）

7. 追加設問について

アンケート用紙の「追加設問回答欄」を使用し、授業固有の項目について、独自に設問を設定してアンケートを実施することができます。設問を追加する場合は、そのアンケート内容・回答方式等とともに、全学的に実施するアンケートとは異なる旨学生に説明してください。

- ア) 追加できる設問は8問以内です。設問は板書等により学生に提示し、各教員が記録しておいてください。
- イ) 各教員へフィードバックする内容は、追加した設問の選択肢「5, 4, 3, 2, 1」の回答の割合です。また、選択肢を「A, B, C, D, E」などに変更しないでください。

上記制限を超えて実施した場合、高等教育推進機構では集計できませんので、あらかじめご承知おきください。

全学教育科目 授業アンケート提出票（教員用）

（太線枠内を記入してください）

北海道大学高等教育推進機構

【担当教員】

所属部局 コード番号	所属部局のコード番号を下表のコード表により記入してください。 全学教育科目を担当する非常勤講師の方は「99」を記入してください。				
職 名	1 教授 2 准教授 3 講師 4 助教 5 非常勤講師 （該当する番号に○印を付けてください。）				
氏 名	(フリガナ)				

【アンケートを実施した授業】

授業の形態	1 講義 2 演習 （該当する番号に○印を付けてください。）			授業内容により、 担当教員が判断 してください。
科目区分	1 主題別科目 2 総合科目 3 一般教育演習 4 共通科目 5 外国語科目 6 外国語演習 7 基礎科目 8 日本語科目及び日本事情に関する科目 （該当する番号に○印を付けてください。）			
必修・選択	1 必修及び選択必修 2 選択 （該当する番号に○印を付けてください。）			
科目名				
時間割番号	「授業アンケートの実施に ついて（依頼）」に記載さ れている6桁の数字を記入 してください。		曜日講時	
受講登録 学生数	1 25人以下 2 26～50人 3 51～100人 4 101～200人 5 201人以上 （該当する番号に○印を付けてください。）			

部局コード番号

部 局 名	番号	部 局 名	番号	部 局 名	番号
文学研究科・文学部	01	メディア・コミュニケーション研究院	44	創成研究機構	54
教育学研究院・教育学部	02	保健科学研究院	48	人獣共通感染症リサーチセンター	40
法学研究科・法学部	03	公共政策学連携研究部	38	大学文書館	41
経済学研究科・経済学部	04	低温科学研究所	16	観光学高等研究センター	43
理学研究院・理学部	05	電子科学研究所	17	外国語教育センター	45
医学研究科・医学部	06	遺伝子病制御研究所	18	アイヌ・先住民研究センター	46
歯学研究科・歯学部	07	触媒化学研究センター	19	社会科学実験研究センター	47
薬学研究院・薬学部	08	スラブ・ユーラシア研究センター	20	情報法政策学研究センター	49
工学研究院・工学部	09	情報基盤センター	36	環境ナノ・バイオ工学研究センター	50
農学研究科・農学部	10	アイソトープ総合センター	22	数学連携研究センター	51
獣医学研究科・獣医学部	11	国際本部	26	サステイナビリティ学教育研究センター	52
水産科学研究院・水産学部	12	高等教育推進機構	29	トポロジー理工学教育研究センター	53
情報科学研究科	37	総合博物館	32	保健センター	33
地球環境科学研究院	14	量子集積エレクトロニクス研究センター	27	環境健康科学研究教育センター	55
先端生命科学研究院	42	北方生物圏フィールド科学センター	35	非常勤講師（全学教育科目）	99

※ 研究科、学部の附属施設に所属する教員は、研究科・学部のコード番号を記載してください。

全学教育科目 授業アンケート

北海道大学高等教育推進機構

このアンケートは、授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に生かされますので、率直で建設的な回答をお願いします。アンケートの回答によりあなたが不利益を被ることはありません。

設問は全てで 16 問あります。裏面には自由記述欄がありますので、この授業やアンケートに対する意見を述べてください。アンケート記入後は、授業担当教員の指示に従って提出願います。

この授業（講義・演習）について、以下の各設問に対してどう考えますか。
それぞれについて、該当するものを 1 つ選んで数字又はアルファベットに○を付けてください。

の評点は、「5：強くそう思う，4：そう思う，3：どちらともいえない，2：そうは思わない，1：強くそう思わない」の順とします。ただし、設問の 4，11，13，14 については、各設問に「」書きで付記している評点基準とします。

- | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | ① |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |
| 2 授業はシラバスにそって行われていた。 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | ② |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |
| 3 授業で要求される作業量（レポート、課題、予習・復習など）は適切であった。 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | ③ |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |
| 4 授業内容の難易度は適切であった。
「A：極めて難しい，B：難しい，C：適切，D：やさしい，E：極めてやさしい」 | <table border="1"><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr></table> | A | B | C | D | E | ④ |
| A | B | C | D | E | | | |
| 5 教員の説明はわかりやすかった。 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | ⑤ |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |
| 6 教員の熱意が伝わってきた。 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | ⑥ |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |
| 7 教員の話し方は聞き取りやすかった。 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | ⑦ |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |
| 8 教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | ⑧ |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |
| 9 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | ⑨ |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |
| 10 黒板、教科書、プリントや A V 機器等の使われ方が効果的であった。 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | ⑩ |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |
| 11 この授業の自分の出席率は（ ）%程度であった。
「A：100，B：80，C：60，D：40，E：20」 | <table border="1"><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr></table> | A | B | C | D | E | ⑪ |
| A | B | C | D | E | | | |
| 12 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | ⑫ |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |
| 13 この授業 1 回 (90 分) のための予習・復習に費やした時間は平均（ ）であった。
「A：4 時間以上，B：3 時間，C：2 時間，D：1 時間，E：30 分以下」 | <table border="1"><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr></table> | A | B | C | D | E | ⑬ |
| A | B | C | D | E | | | |
| 14 シラバスに記載されている到達目標は、（ ）割程度達成できた。
「回答欄に 0～10 の数値を記入してください」 | <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 割 | | | | | | ⑭ |
| | | | | | | | |
| 15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | ⑮ |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |
| 16 授業は全体として満足できるものであった。 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | ⑯ |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | |

【追加設問回答欄】 以下の 1 から 8 の欄は、教員から、設問を追加する旨指示があった場合のみ回答してください。

- | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---|---|---|---|---|---|--------|---|---|---|---|---|---|
| 追加設問 1 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 追加設問 5 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| 追加設問 2 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 追加設問 6 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| 追加設問 3 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 追加設問 7 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| 追加設問 4 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 追加設問 8 | <table border="1"><tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | | |

裏面に自由記述欄を設けていますのでこの授業やアンケートに対する意見を書いてください。（裏面に続く）

自由記述欄

この授業で良かったと思う点について書いてください。

この授業で改善した方が良くと思う点について書いてください。

その他、気づいたことがありましたら書いてください。

授業アンケートの実施方法や設問内容などについて、意見がありましたら書いてください。

平成26年度（第2学期） 全学教育科目 授業アンケート回収用封筒

【受講生の代表の方へ】

このアンケート調査は本学の授業を改善するために毎年行っているものです。
より公正な取扱いを行うため、アンケートの回収等は学生の皆さん自身に行っていただいています。
お手数をおかけしますが、よろしくご協力をお願いします。

アンケートの回収方法

1. 当封筒に、ピンク色の「授業アンケート提出票（教員用）」が入っていることを確認してください。（入っていない場合は教員に確認してください。）
2. 受講生から、記入の終わったアンケート用紙を回収し、当封筒に入れ密封してください。
3. 当封筒を、下記のいずれかの窓口に提出してください。
 - ① 学務部教育推進課（全学教育担当）（高等教育推進機構E棟1階8番窓口）
 - ② 各学部・研究所等の教務担当

※ 5講時の終了時には、上記の窓口が閉まっている場合がありますので、その場合の提出方法については教員の指示を受けてください。

【問い合わせ先】学務部学務企画課（教育支援担当） TEL：011-706-5567

（学内便）

④1 学務部学務企画課（教育支援担当） 行

授業担当教員記入欄（必ずご記入ください）

所属部局名 (School / Institution)	
氏 名 (Name)	
科 目 名 (Course Title)	

5. 調査対象の解析

アンケートの依頼・実施者数（平成26年度）

部局等名 (授業を担当する教員がいる部局)	教員数 (H26.5.1)	担当 教員数	実施 教員数	回収数			実施率 (実施教員数/ 担当教員数)	回収率 (実施授業数/ 担当教員数)
				実施 授業数	アンケー ト枚数	追加設問 実施枚数		
文学研究科・文学部	104	94 (4)	62	68	3,079	1,042	65.96%	72.34%
法学研究科・法学部	78	24	18	18	722	53	75.00%	75.00%
経済学研究科・経済学部	49	27	20	23	737	105	74.07%	85.19%
医学研究科・医学部	147	8 (1)	6	8	460	86	75.00%	100.00%
歯学研究科・歯学部	86	9 (2)	5	5	146	108	55.56%	55.56%
獣医学研究科・獣医学部	47	6 (2)	5	5	217	80	83.33%	83.33%
情報科学研究科	96	25 (2)	13	15	1,085	61	52.00%	60.00%
水産科学院・水産科学研究院・水産学部	76	11 (1)	9	10	505	162	81.82%	90.91%
環境科学院・地球環境科学研究院	59	28 (3)	24	26	1,338	126	85.71%	92.86%
理学院・理学研究院・理学部	201	122 (4)	91	122	6,140	514	74.59%	100.00%
薬学研究院・薬学部	55	9 (3)	6	6	222		66.67%	66.67%
農学院・農学研究院・農学部	123	19	14	15	551	59	73.68%	78.95%
生命科学院・先端生命科学研究院	29	7 (1)	7	8	411	19	100.00%	114.29%
教育学院・教育学研究院・教育学部	37	14 (1)	11	13	764	268	78.57%	92.86%
国際広報メディア・観光学院 メディア・コミュニケーション学部	51	62 (16)	42	115	3,091	985	67.74%	185.48%
保健科学院・保健科学研究院	70	6	5	6	162	36	83.33%	100.00%
工学院・工学研究院・工学部	291	46 (1)	38	39	1,497	455	82.61%	84.78%
公共政策学教育部・公共政策学連携研究	19	5	5	5	182	33	100.00%	100.00%
低温科学研究所	46	5	5	5	201	78	100.00%	100.00%
電子科学研究所	50	9 (1)	9	9	280	86	100.00%	100.00%
遺伝子病制御研究所	28	5	5	5	292		100.00%	100.00%
触媒化学研究センター	22	3	3	5	170		100.00%	166.67%
スラブ・ユーラシア研究センター	16	2	2	2	67		100.00%	100.00%
情報基盤センター	13	5	3	4	347	347	60.00%	80.00%
アイソトープ総合センター	3	1	1	1	21		100.00%	100.00%
総合博物館	9	2 (1)	2	2	61		100.00%	100.00%
北方生物圏フィールド科学センター	39	11	8	11	282	37	72.73%	100.00%
人獣共通感染症リサーチセンター	10	1	1	1	43		100.00%	100.00%
観光学高等研究センター	4	1	1	1	86	86	100.00%	100.00%
アイヌ・先住民研究センター	6	3	2	2	93	60	66.67%	66.67%
サステナビリティ学教育研究センター	1	1	1	1	17	17	100.00%	100.00%
保健センター	3	1	1	1	215		100.00%	100.00%
国際本部	15	9 (1)	9	25	334	243	100.00%	277.78%
高等教育推進機構	9	12 (4)	11	17	402	248	91.67%	141.67%
本学教員小計	1,892	593 (48)	445	599	24,220	5,394	75.04%	101.01%
非常勤講師小計	112	112	88	125	4,565		78.57%	111.61%
合計	2,004	705	533	724	28,785	5,394	75.60%	102.70%

※ 教員数は、平成26年5月1日現在の在籍数。

※ 担当教員数のカッコ内は、特任教員数で内数。また、非常勤講師は、平成26年度に全学教育科目の授業を担当した実数。

※ 担当教員数（全学教育科目授業を担当した教員）及び実施教員数（授業アンケートを提出した教員）は実数。授業アンケート実施後に所属を異動した場合でも、授業アンケート実施当時の所属でカウント。

※ 回収率は、授業数（同一教員が複数の授業についてアンケートを実施した場合を含む）を担当教員数で除したもので、担当教員あたりの延べ実施率。

（参考）平成25年度（平成25年度第1学期・平成25年度第2学期）実績

部局等名	教員数	担当 教員数	実施 教員数	回収数			実施率 (実施教員数/ 担当教員数)	回収率 (実施授業数/ 担当教員数)
				実施 授業数	アンケート 枚数	追加設問 実施枚数		
本学教員小計	1,861	584	430	541	23,511	856	73.63%	92.64%
非常勤講師小計	118	105	82	118	4,595	7	78.10%	112.38%
合計	1,979	689	512	659	28,106	863	74.31%	95.65%

6. アンケート結果と解析

授業の総合評価

総合評点は、設問 1～2, 5～10, 15～16 の選択肢を評点とし、平均したものである。また、アンケート対象を全学教育科目に絞り、科目を「外国語」「講義科目」「演習科目」「必修科目」「選択科目」に分類した。その結果、総合評点は、以下のようになった。なお、表中では 1 学期を「前」、2 学期を「後」と表記している。

	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	4.01	4.03	4.04
外国語	4.23	4.30	4.29
講義科目	3.96	3.98	3.98
演習科目	4.32	4.34	4.38
必修科目	3.95	3.97	3.92
選択科目	4.06	4.10	4.18

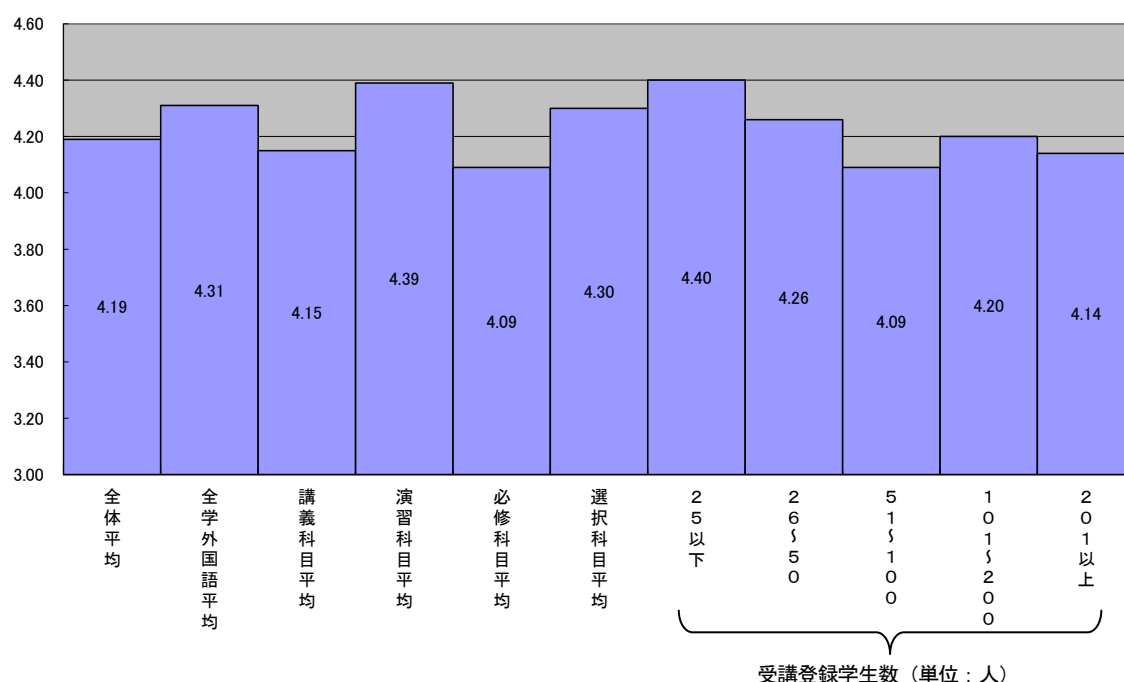
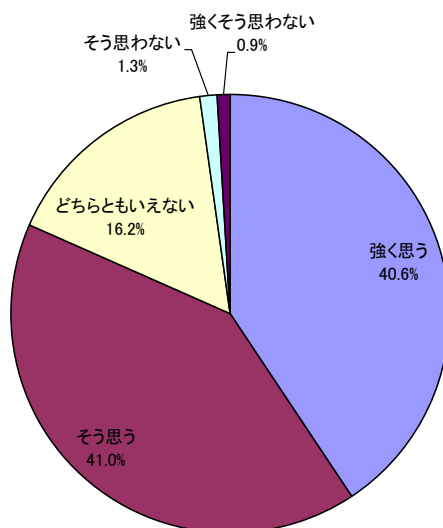
A 授業内容に関する項目

設問1 シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。

円グラフ：今年度（平成26年度1学期と2学期）の回答比率（無回答を除く）を表す（以下各設問同様）。

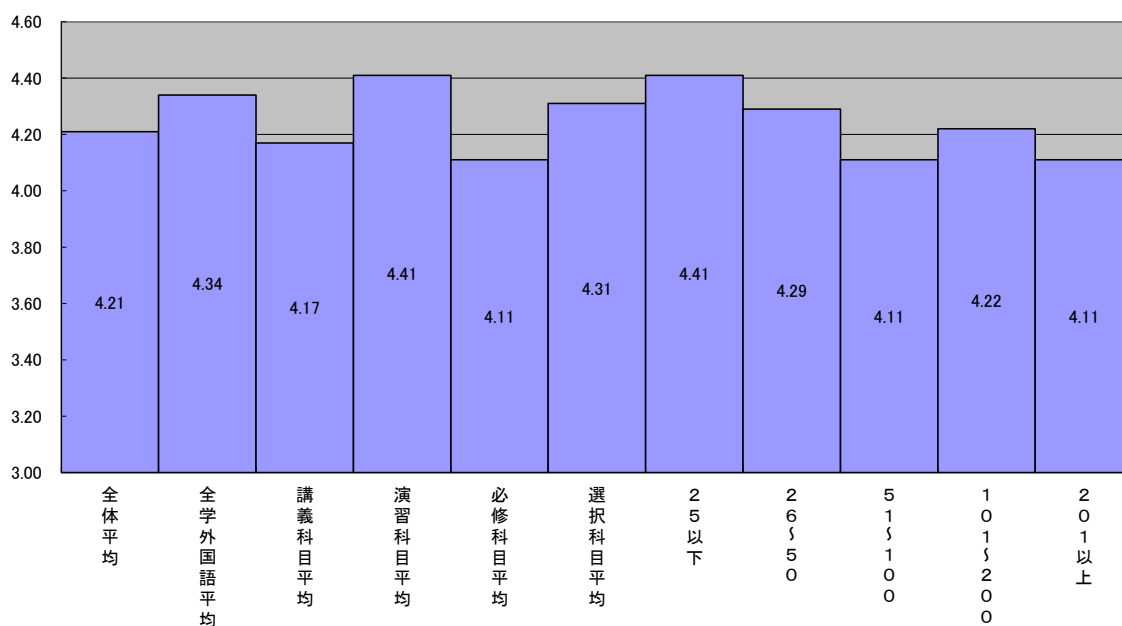
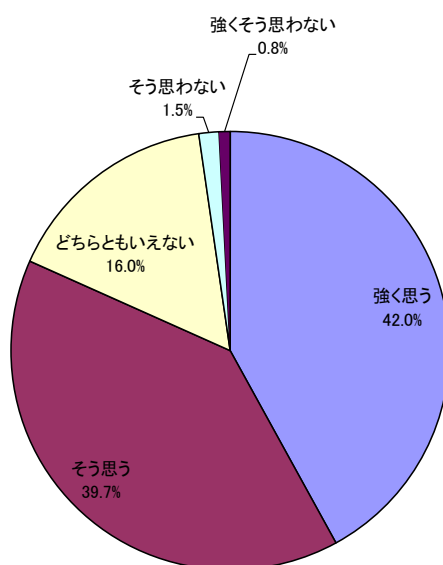
棒グラフ：この設問について、各分類における評点の平均値を表す（以下各設問同様）。

	そう思う (評点の4と5の合計)			そうは思わない (評点の1と2の合計)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	79.4%	80.6%	81.6%	2.2%	1.9%	2.2%
外国語	84.5%	86.6%	86.8%	1.5%	0.9%	1.4%
講義科目	78.2%	79.6%	80.2%	2.3%	2.1%	2.4%
演習科目	86.3%	86.4%	89.3%	1.5%	1.1%	1.3%
必修科目	76.7%	78.8%	77.5%	2.2%	2.0%	2.9%
選択科目	81.5%	82.4%	86.0%	2.2%	1.8%	1.5%



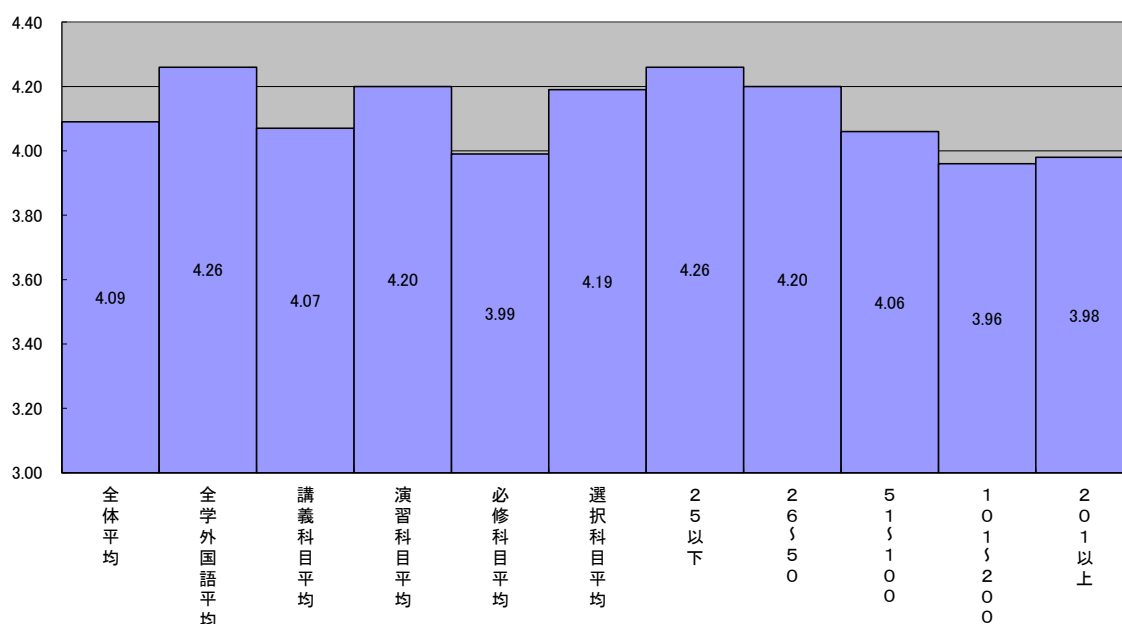
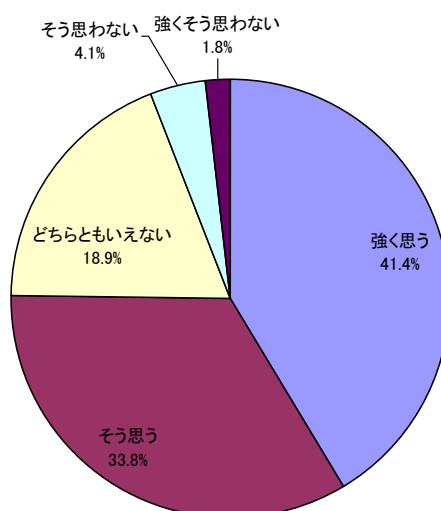
設問2 授業はシラバスにそって行われていた。

	そう思う (評点の4と5の合計)			そうは思わない (評点の1と2の合計)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	79.7%	81.1%	81.7%	2.1%	1.9%	2.3%
外国語	84.5%	86.9%	87.4%	1.4%	0.9%	1.1%
講義科目	78.7%	80.1%	80.2%	2.2%	2.0%	2.5%
演習科目	85.8%	86.4%	89.6%	1.6%	1.1%	1.1%
必修科目	77.2%	79.3%	78.0%	2.2%	2.0%	3.0%
選択科目	81.7%	82.7%	85.5%	2.0%	1.7%	1.5%



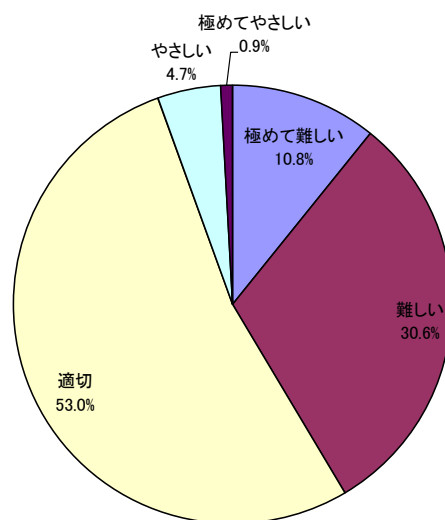
設問3授業で要求される作業量（レポート、宿題、自習など）は適切であった。

	そう思う (評点の4と5の合計)			そうは思わない (評点の1と2の合計)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	74.4%	74.3%	75.2%	5.6%	6.0%	5.9%
外国語	80.8%	82.6%	82.3%	5.2%	4.6%	4.3%
講義科目	73.3%	73.7%	74.4%	5.7%	5.6%	5.8%
演習科目	80.8%	78.0%	79.9%	4.9%	7.7%	6.3%
必修科目	72.3%	72.7%	71.7%	6.8%	7.3%	8.0%
選択科目	76.1%	75.8%	78.9%	4.6%	4.7%	3.7%

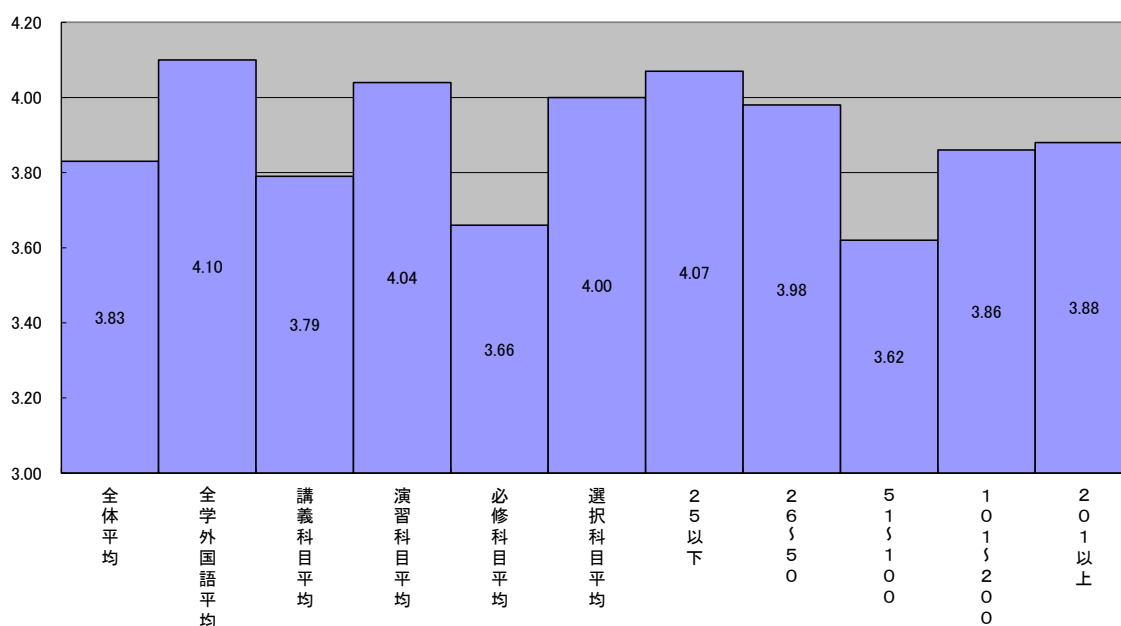


設問4 授業内容の難易度は適切であった。

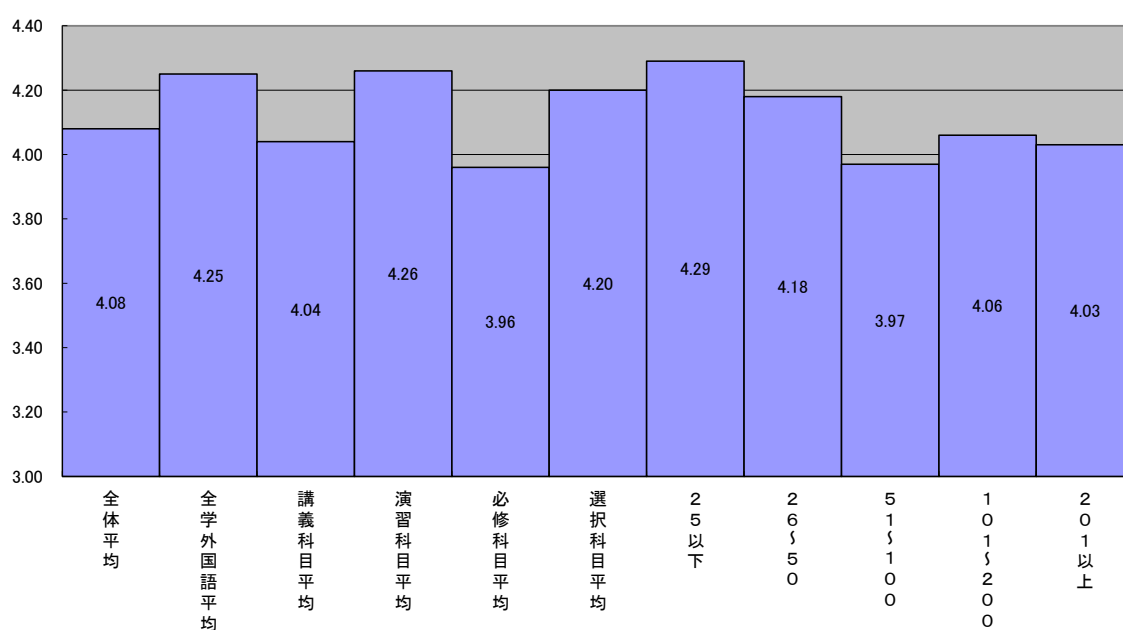
	24 前・後	25 前・後	26 前・後
極めて難しい	10.9%	10.1%	10.8%
難しい	30.1%	30.2%	30.7%
適切	52.4%	53.8%	53.0%
やさしい	5.6%	5.1%	4.7%
極めてやさしい	1.0%	0.9%	0.9%



	極めてやさしい 極めて難しい (評点 A と E の合計)			やさしい 難しい (評点 B と D の合計)			適切 (評点 C)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	11.9%	10.9%	11.7%	35.7%	35.3%	35.3%	52.3%	53.8%	53.0%
外国語	8.1%	6.9%	7.1%	33.2%	31.7%	30.9%	58.6%	61.4%	62.0%
講義科目	12.3%	11.4%	12.4%	35.9%	35.3%	35.8%	51.7%	53.3%	51.8%
演習科目	9.7%	8.1%	7.7%	34.0%	35.3%	32.7%	56.3%	56.6%	59.6%
必修科目	13.7%	13.0%	14.2%	37.4%	38.0%	38.5%	48.9%	49.1%	47.3%
選択科目	10.5%	9.0%	9.0%	34.3%	32.6%	32.0%	55.1%	58.4%	59.0%

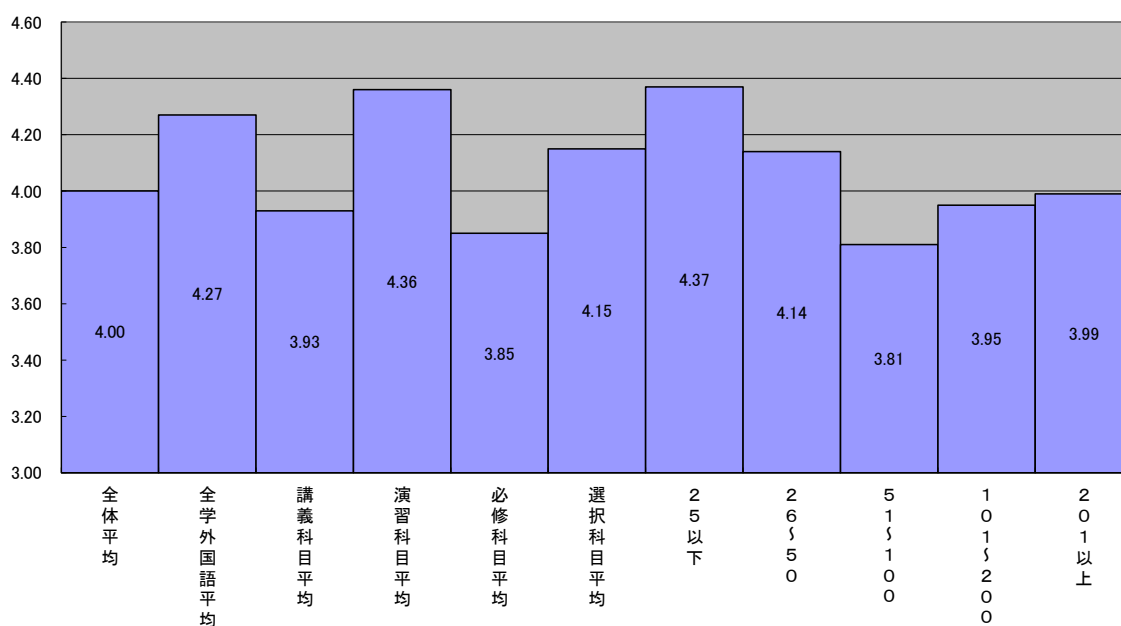
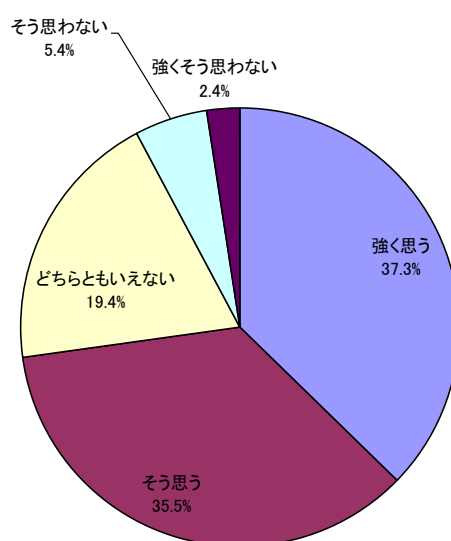


【設問 1 ～ 4 の合計】



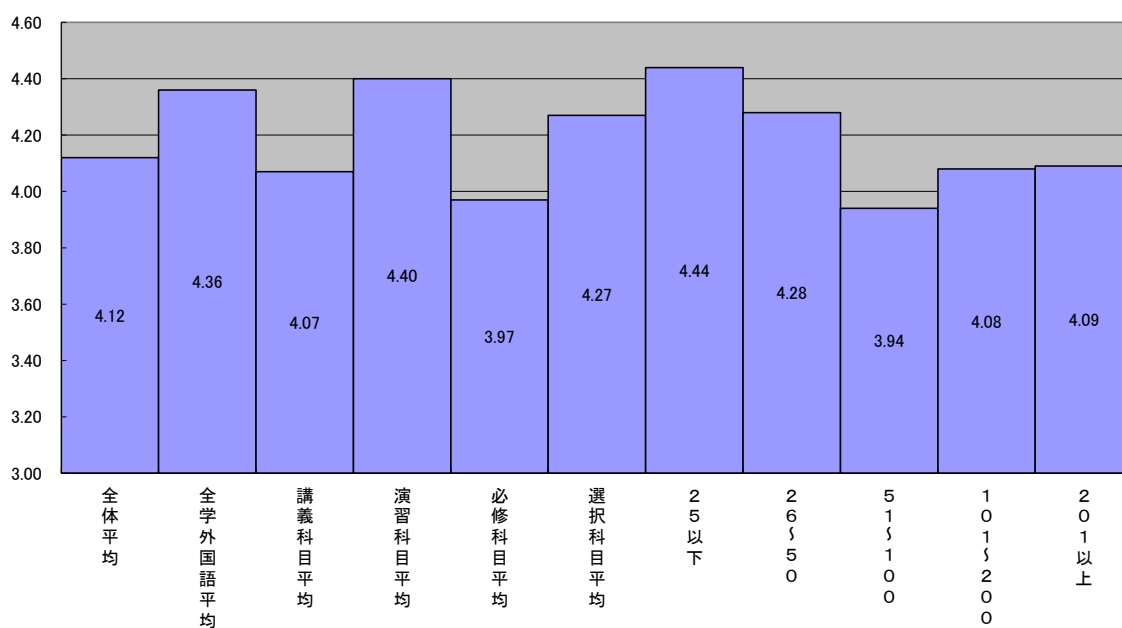
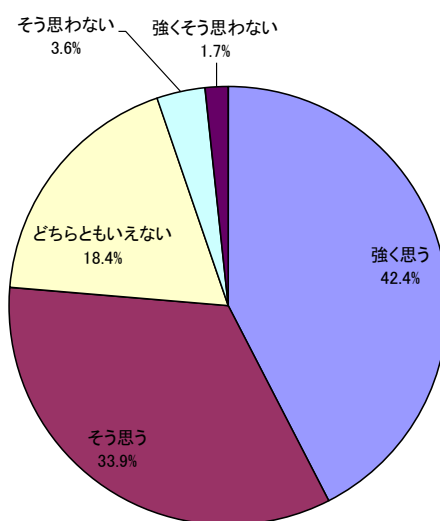
設問5 教員の説明はわかりやすかった。

	そう思う (評点の4と5の合計)			そうは思わない (評点の1と2の合計)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	71.1%	72.1%	72.8%	8.3%	7.9%	7.8%
外国語	80.2%	84.5%	83.7%	4.6%	3.3%	3.8%
講義科目	69.2%	70.0%	70.3%	9.0%	8.7%	8.8%
演習科目	82.1%	84.3%	86.4%	3.9%	3.3%	2.4%
必修科目	68.6%	69.2%	67.0%	10.2%	10.1%	11.2%
選択科目	73.1%	74.9%	78.8%	6.7%	5.7%	4.2%



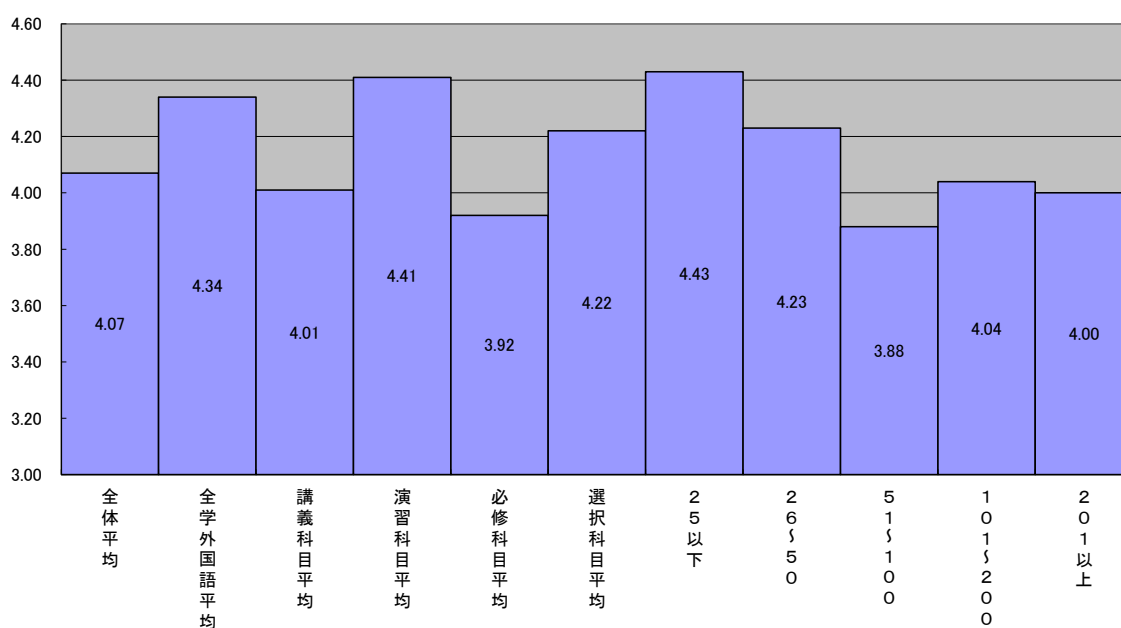
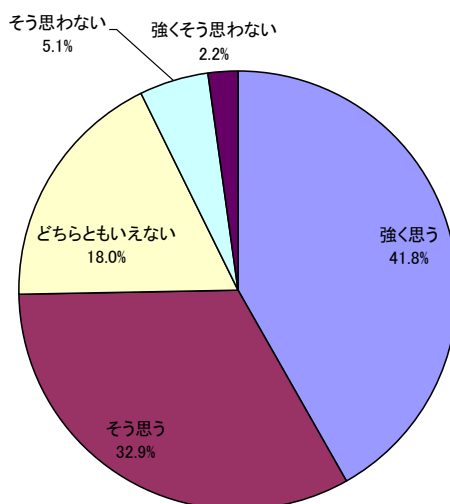
設問6 教員の熱意が伝わってきた。

	そう思う (評点の4と5の合計)			そうは思わない (評点の1と2の合計)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	75.4%	75.9%	76.3%	5.2%	5.0%	5.3%
外国語	84.2%	86.7%	86.0%	2.6%	1.9%	2.3%
講義科目	73.7%	74.3%	74.5%	5.7%	5.4%	5.9%
演習科目	85.5%	85.0%	86.6%	2.2%	2.4%	2.0%
必修科目	72.0%	72.5%	70.7%	6.8%	6.5%	7.9%
選択科目	78.2%	79.2%	82.2%	4.0%	3.5%	2.5%



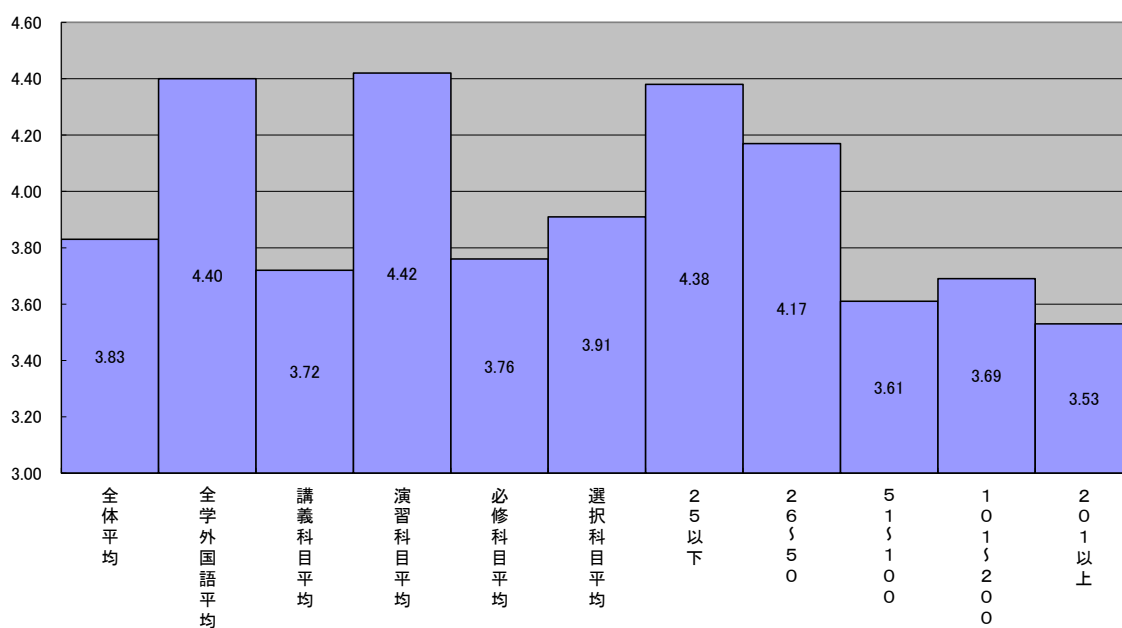
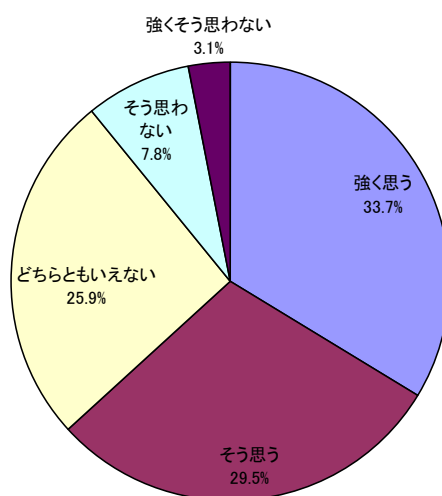
設問7 教員の話し方は聞き取りやすかった。

	そう思う (評点の4と5の合計)			そうは思わない (評点の1と2の合計)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	72.9%	74.7%	76.3%	7.8%	6.6%	5.3%
外国語	81.1%	85.4%	86.0%	5.0%	3.1%	2.3%
講義科目	71.2%	72.7%	74.5%	8.5%	7.3%	5.9%
演習科目	82.7%	86.2%	86.6%	4.2%	2.5%	2.0%
必修科目	71.0%	71.8%	70.7%	9.0%	8.3%	7.9%
選択科目	74.3%	77.5%	82.2%	6.9%	4.9%	2.5%



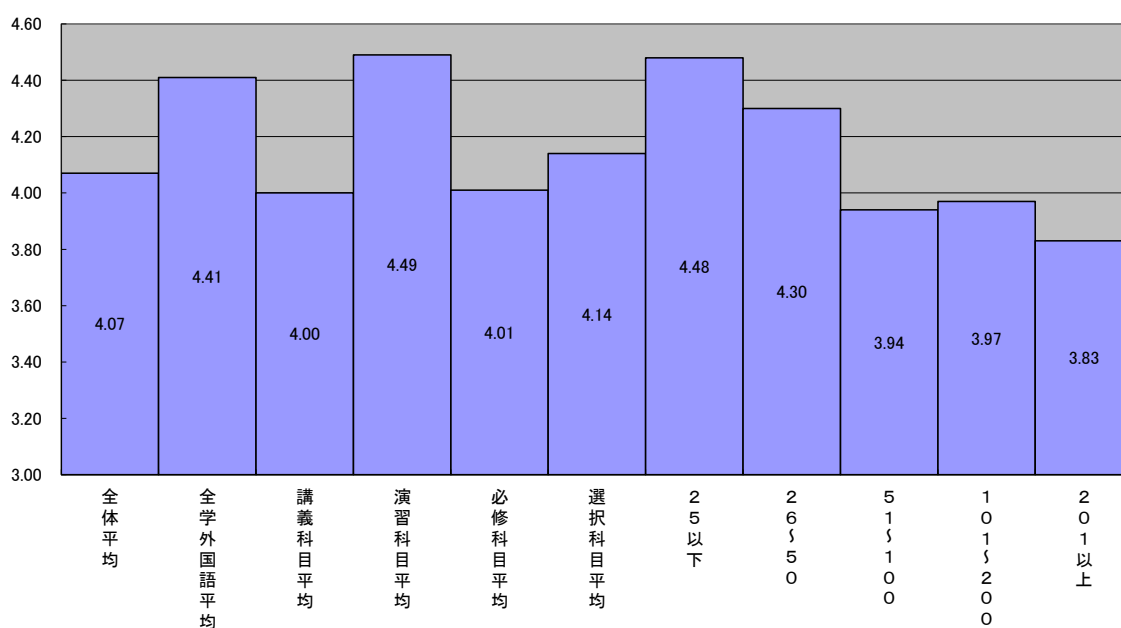
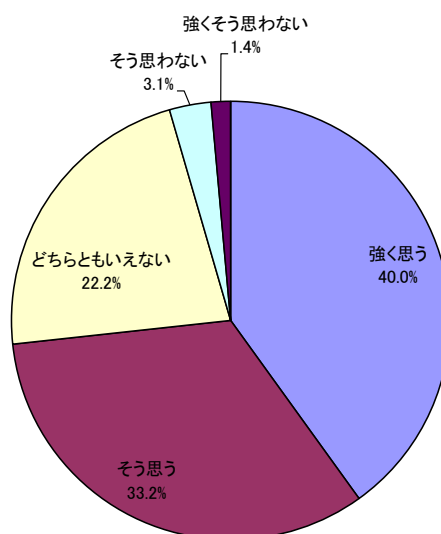
設問8 教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。

	そう思う (評点の4と5の合計)			そうは思わない (評点の1と2の合計)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	59.6%	60.9%	63.2%	12.2%	11.2%	10.9%
外国語	83.9%	86.1%	86.9%	2.5%	1.9%	2.4%
講義科目	55.5%	56.7%	59.0%	13.8%	12.7%	12.5%
演習科目	83.8%	84.2%	86.5%	2.8%	3.0%	2.3%
必修科目	60.5%	62.4%	60.6%	11.9%	10.6%	12.2%
選択科目	59.0%	59.5%	66.0%	12.4%	11.9%	9.4%



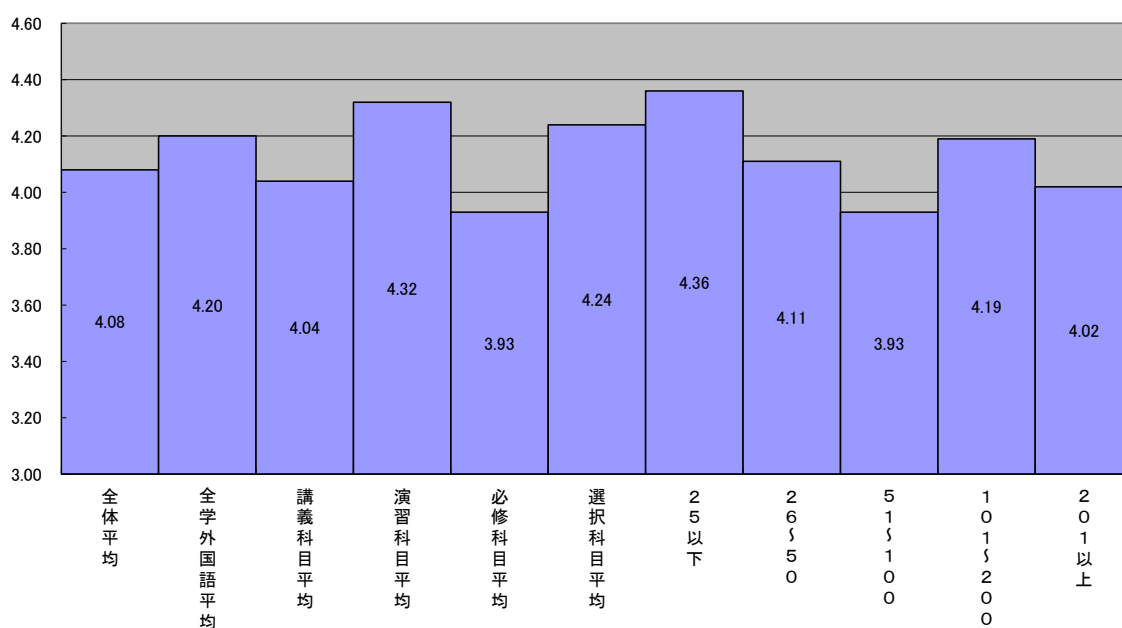
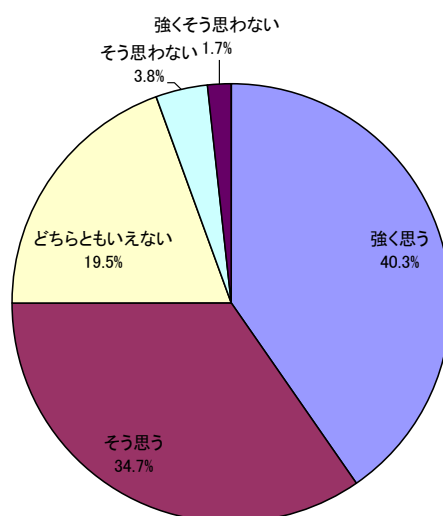
設問9 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。

	そう思う (評点の4と5の合計)			そうは思わない (評点の1と2の合計)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	72.9%	72.8%	73.3%	4.2%	4.3%	4.5%
外国語	84.7%	87.3%	87.7%	1.8%	1.2%	1.4%
講義科目	70.5%	69.9%	70.2%	4.7%	4.8%	5.1%
演習科目	87.0%	88.8%	89.8%	1.6%	1.2%	1.2%
必修科目	73.3%	73.3%	71.0%	4.1%	4.6%	5.5%
選択科目	72.6%	72.2%	75.6%	4.3%	4.0%	3.4%

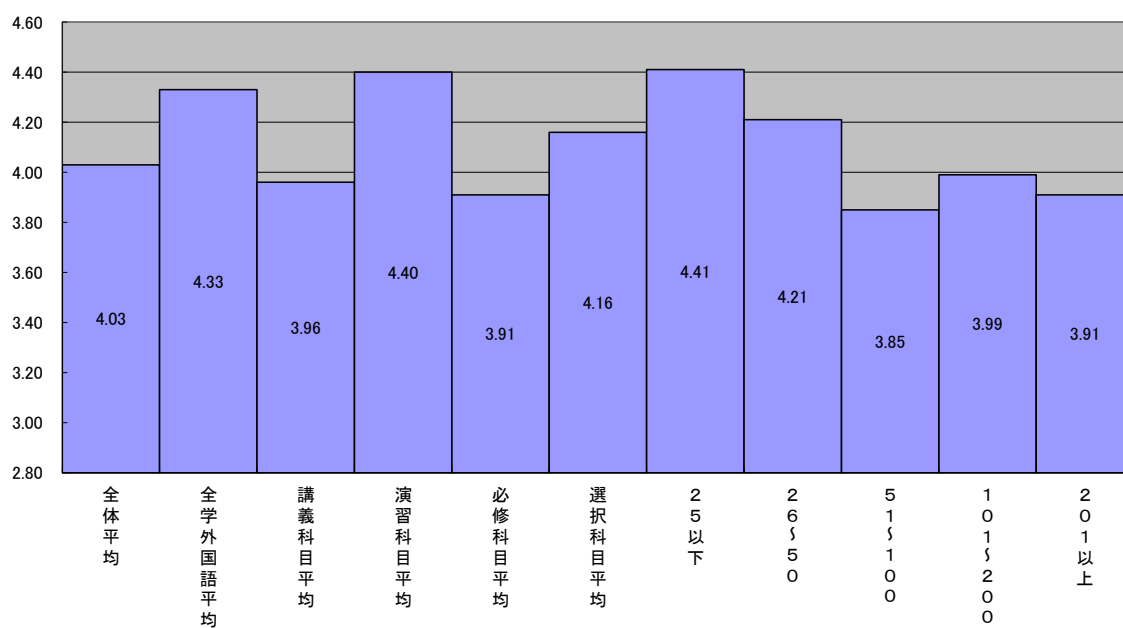


設問 10 黒板，教科書，プリントやＡＶ機器等の使われ方が効果的であった。

	そう思う (評点の4と5の合計)			そうは思わない (評点の1と2の合計)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	71.7%	73.9%	75.0%	6.4%	5.9%	5.6%
外 国 語	75.0%	78.1%	79.2%	4.1%	3.3%	3.0%
講 義 科 目	70.7%	72.6%	73.4%	6.8%	6.5%	6.2%
演 習 科 目	77.4%	81.3%	83.8%	3.7%	2.6%	2.2%
必 修 科 目	67.9%	69.7%	68.9%	7.8%	7.7%	8.0%
選 択 科 目	74.7%	78.0%	81.4%	5.3%	4.1%	3.0%



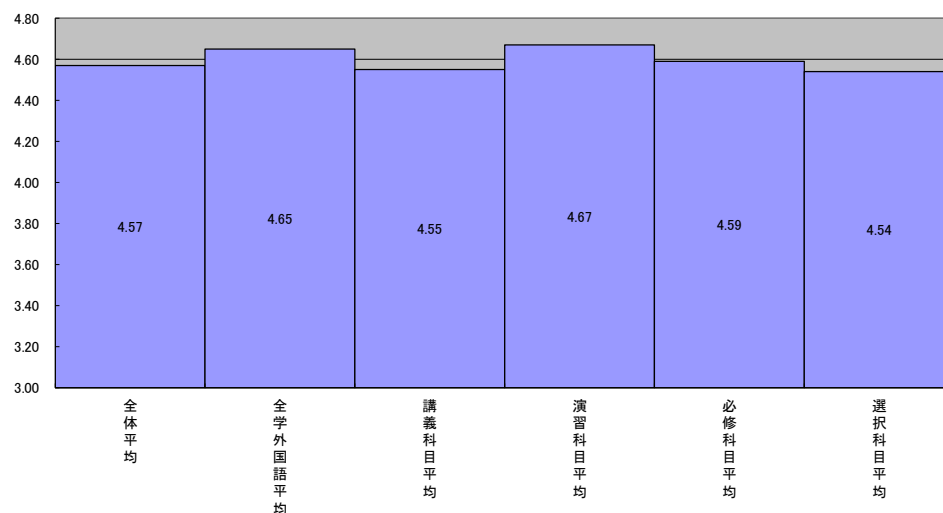
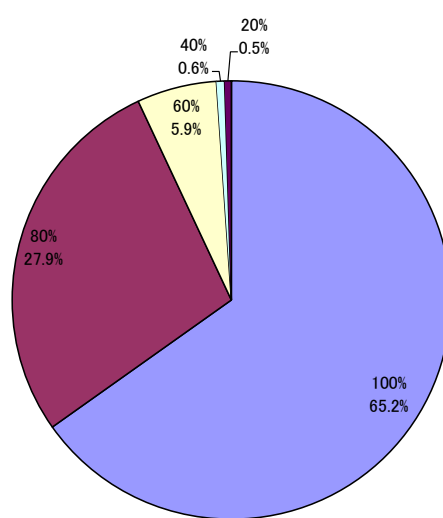
【設問5～10の合計】



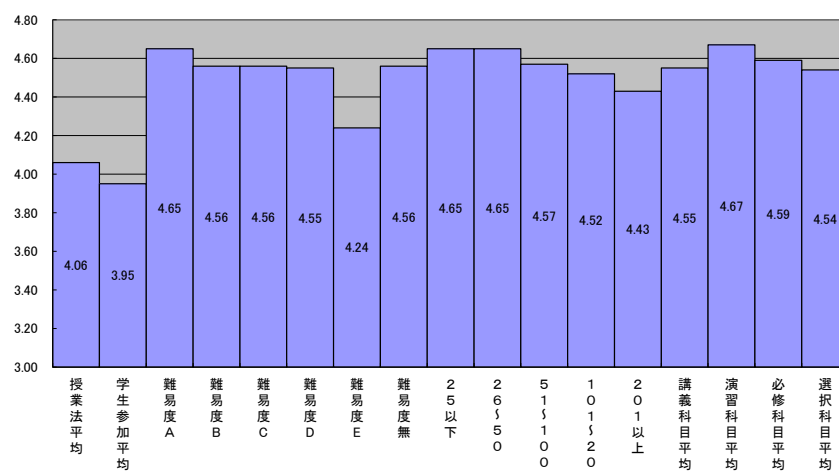
C 学生の行動に関する項目

設問 11 この授業の自分の出席率は（ ）%程度であった。

	80%と100%の合計			20, 40と60%の合計		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	92.5%	92.1%	93.0%	7.5%	7.9%	7.0%
外国語	95.9%	96.1%	96.3%	4.1%	4.0%	3.7%
講義科目	91.8%	91.4%	92.3%	8.2%	8.6%	7.7%
演習科目	96.7%	96.0%	96.8%	3.3%	4.0%	3.2%
必修科目	92.7%	92.5%	93.1%	7.3%	7.5%	6.9%
選択科目	92.4%	91.7%	93.0%	7.6%	8.3%	7.0%

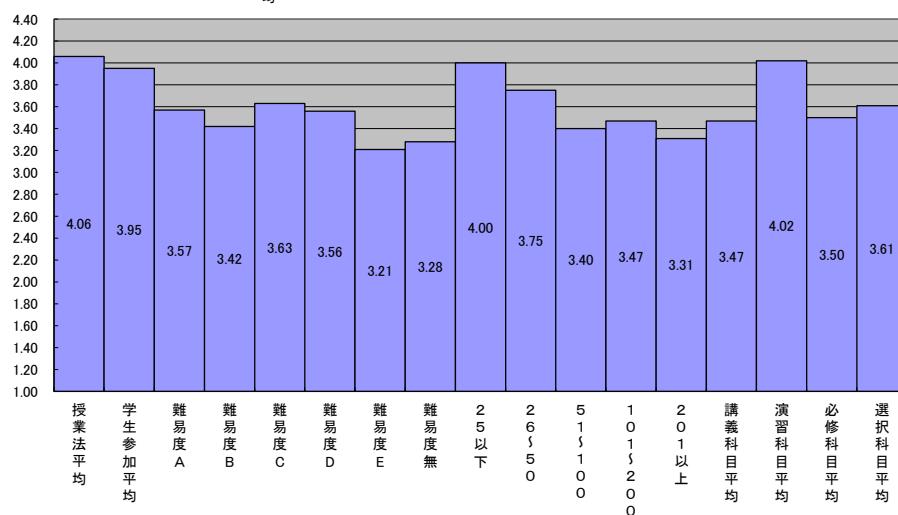
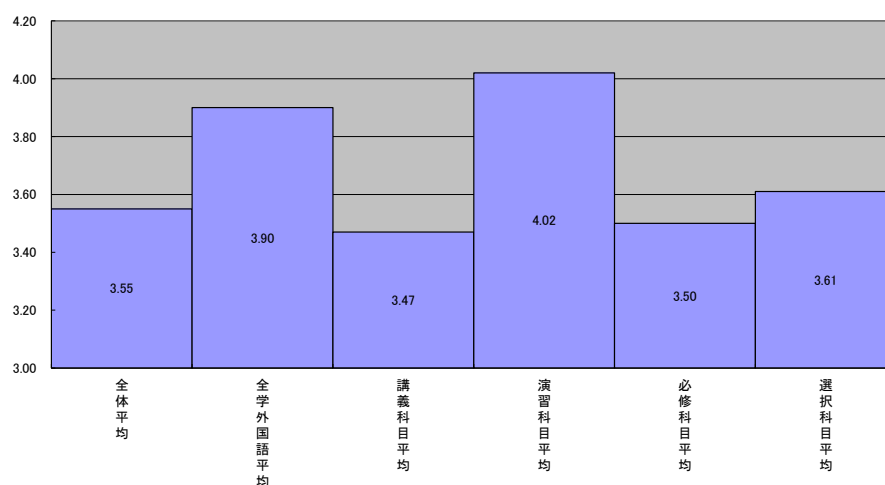
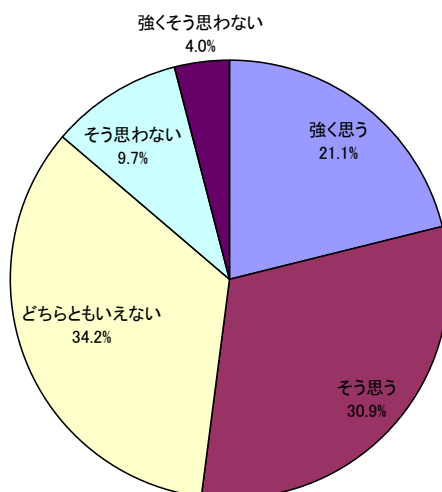


※右図において、「授業法平均」は設問 5, 6, 7 について集計した結果であり、「学生参加平均」は設問 8, 9 について集計した結果である。「難易度 A」については、設問 4 において、「A: きわめて難しい」と答えた学生が本設問 11 でどのように回答したのかを評点の平均値で表している（他の難易度も同様、「難易度無」は無回答）。さらに、「受講登録学生数」毎の本設問の評点の平均を示し、「講義科目平均」、「演習科目平均」、「必修科目平均」、「選択科目平均」については、上図の棒グラフと情報は重なるが、比較のために示した。（続く、設問 12, 13 のグラフも同様）



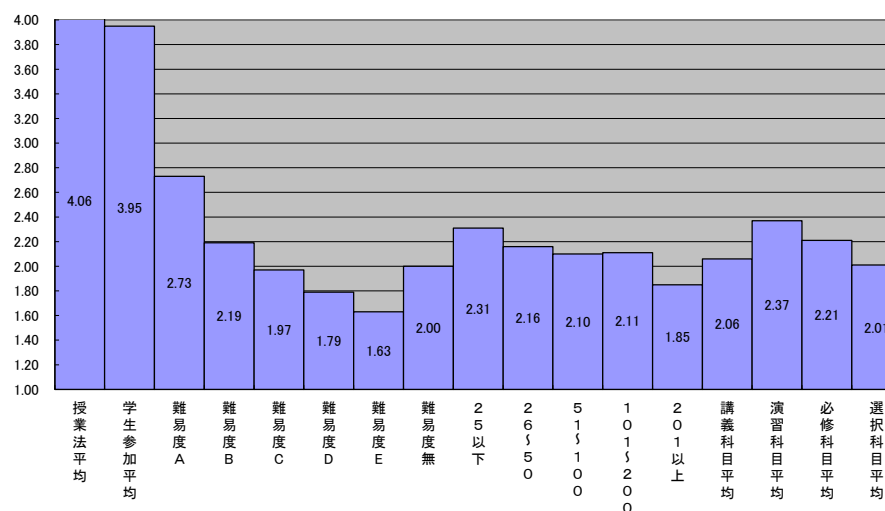
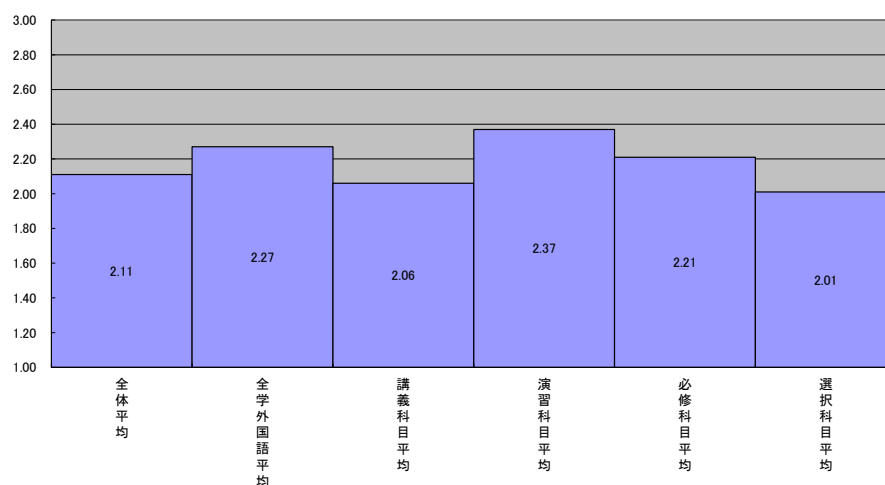
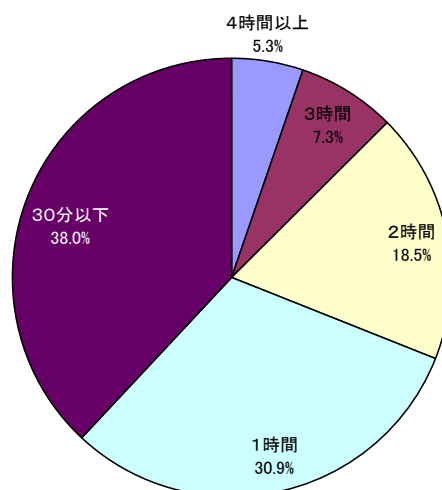
設問 12 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。

	そう思う (評点の4と5の合計)			そうは思わない (評点の1と2の合計)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	48.2%	50.3%	52.1%	16.0%	15.2%	13.8%
外 国 語	63.3%	67.7%	68.2%	8.3%	6.8%	6.5%
講 義 科 目	44.4%	46.5%	48.3%	17.7%	16.9%	15.4%
演 習 科 目	70.6%	71.3%	72.8%	5.7%	6.3%	4.7%
必 修 科 目	48.2%	50.8%	49.6%	15.6%	14.3%	14.7%
選 択 科 目	48.1%	49.9%	54.6%	16.3%	16.2%	12.8%



設問 13 この授業 1 回（90 分）のための予習・復習に費やした時間は平均（ ）であった。

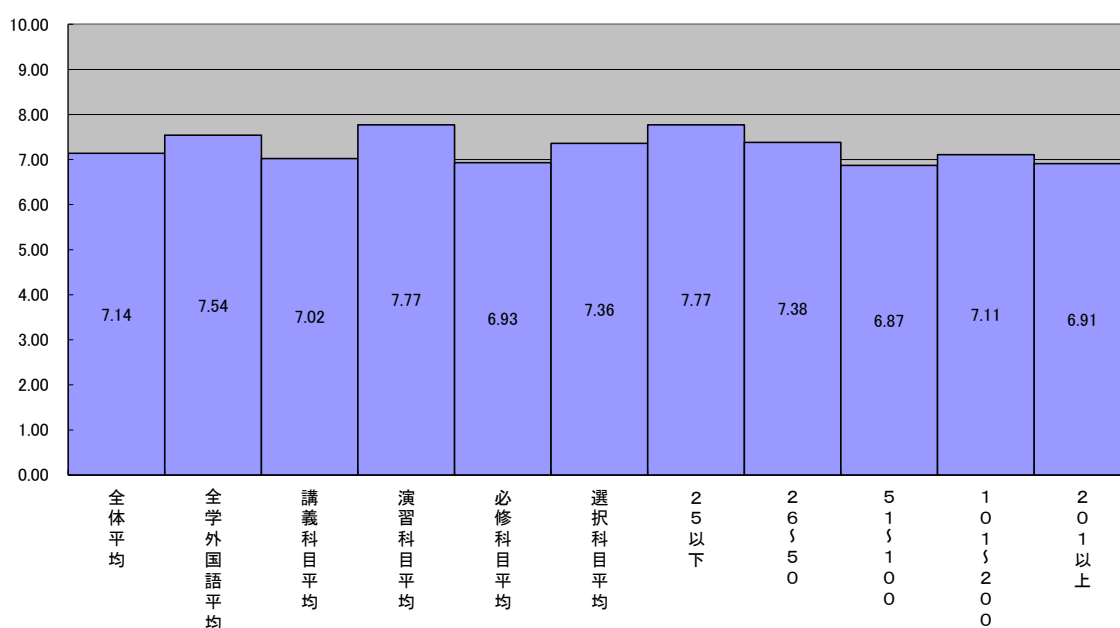
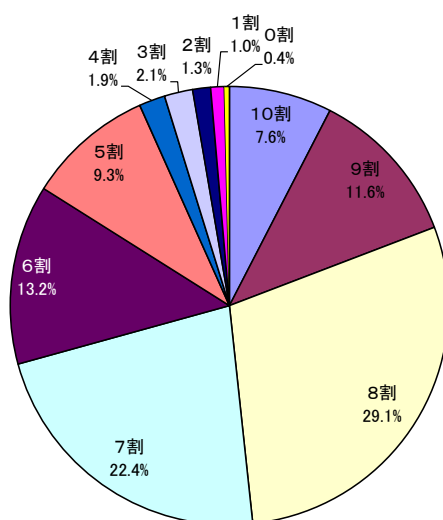
	3時間以上			1時間以下		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	10.8%	11.5%	12.5%	71.9%	70.4%	69.0%
外国語	10.3%	10.9%	11.1%	65.4%	66.5%	65.8%
講義科目	10.3%	10.9%	11.7%	73.1%	72.0%	70.6%
演習科目	13.7%	15.0%	17.0%	64.7%	61.7%	60.1%
必修科目	11.2%	12.6%	13.1%	68.1%	66.3%	66.2%
選択科目	10.5%	10.5%	12.0%	74.9%	74.4%	71.9%



D 教育効果

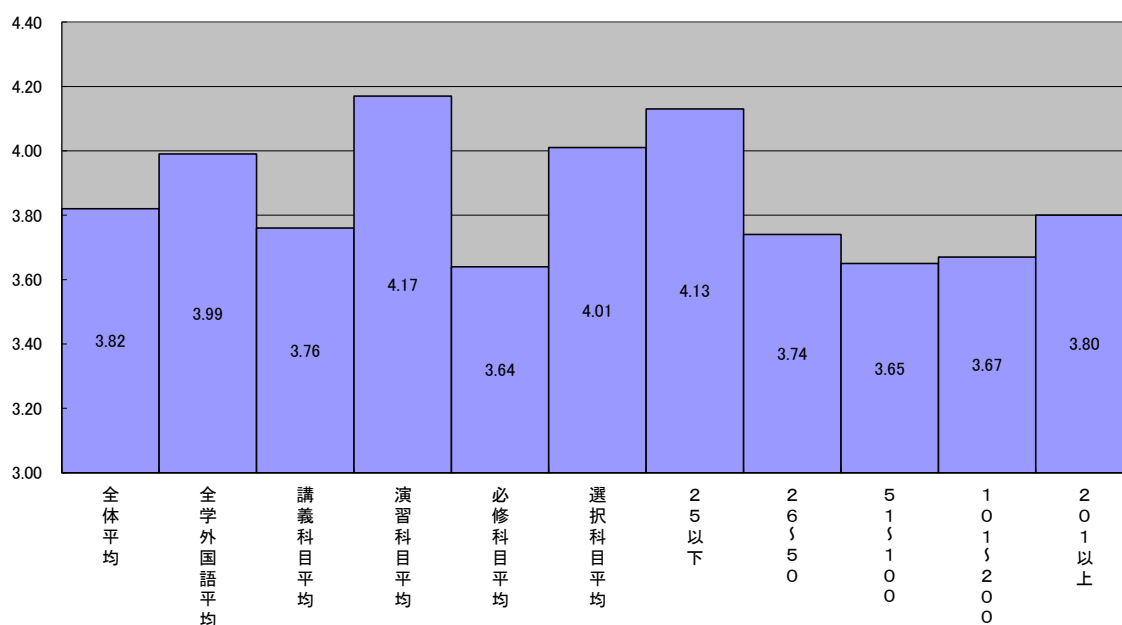
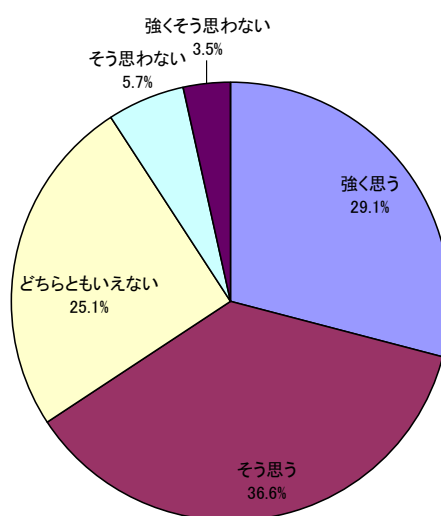
設問 14 私はシラバスの到達目標を（ ）割程度達成できた。

	8割以上			5割以下		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	48.2%	48.1%	48.5%	16.5%	16.3%	16.1%
外国語	56.3%	58.0%	57.7%	9.2%	8.3%	8.5%
講義科目	45.5%	45.6%	45.6%	18.1%	17.8%	17.9%
演習科目	64.1%	61.9%	64.0%	7.1%	7.9%	6.1%
必修科目	45.8%	45.6%	43.6%	18.4%	18.2%	19.5%
選択科目	50.1%	50.5%	53.5%	15.1%	14.5%	12.5%



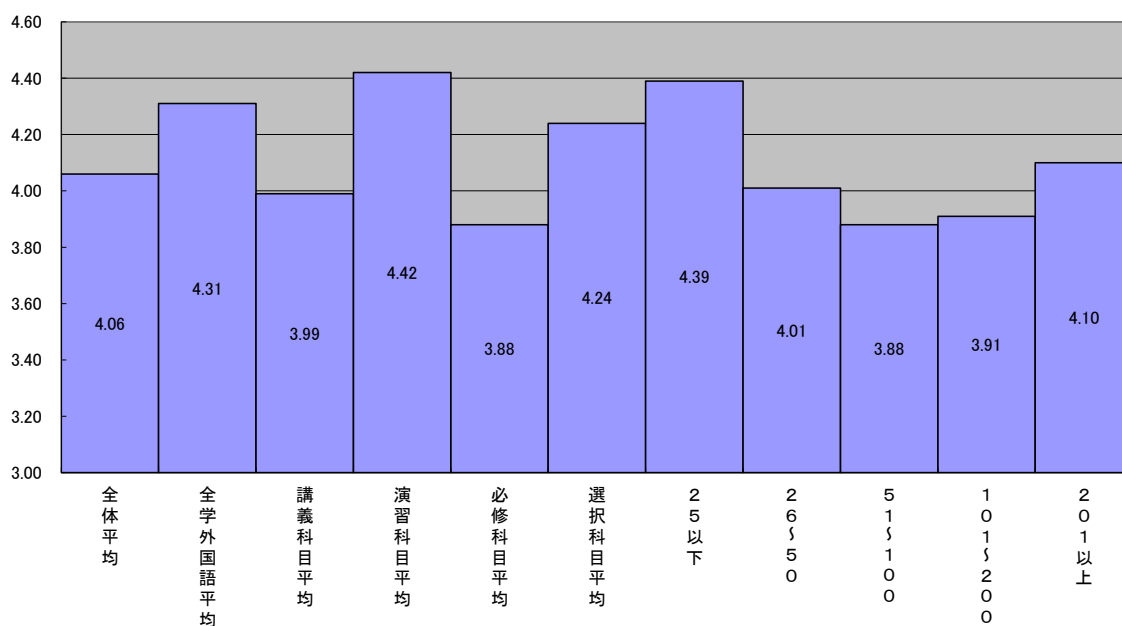
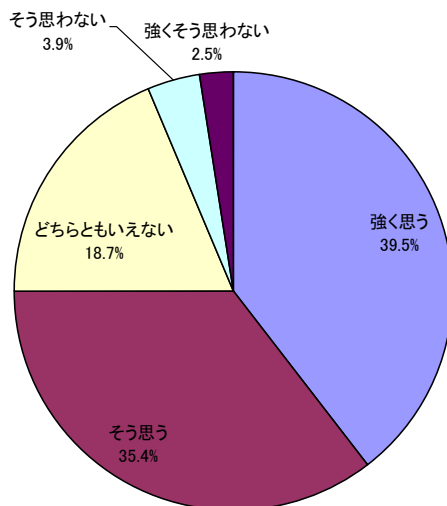
設問 15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。

	そう思う (評点の4と5の合計)			そうは思わない (評点の1と2の合計)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	64.2%	64.3%	65.7%	9.6%	9.4%	9.2%
外国語	69.1%	72.1%	73.1%	6.5%	5.4%	5.6%
講義科目	61.8%	62.0%	63.0%	10.5%	10.2%	10.1%
演習科目	78.3%	77.3%	80.4%	4.2%	5.2%	4.0%
必修科目	58.6%	58.9%	57.7%	11.7%	11.2%	12.4%
選択科目	68.6%	69.5%	74.1%	7.9%	7.7%	5.9%

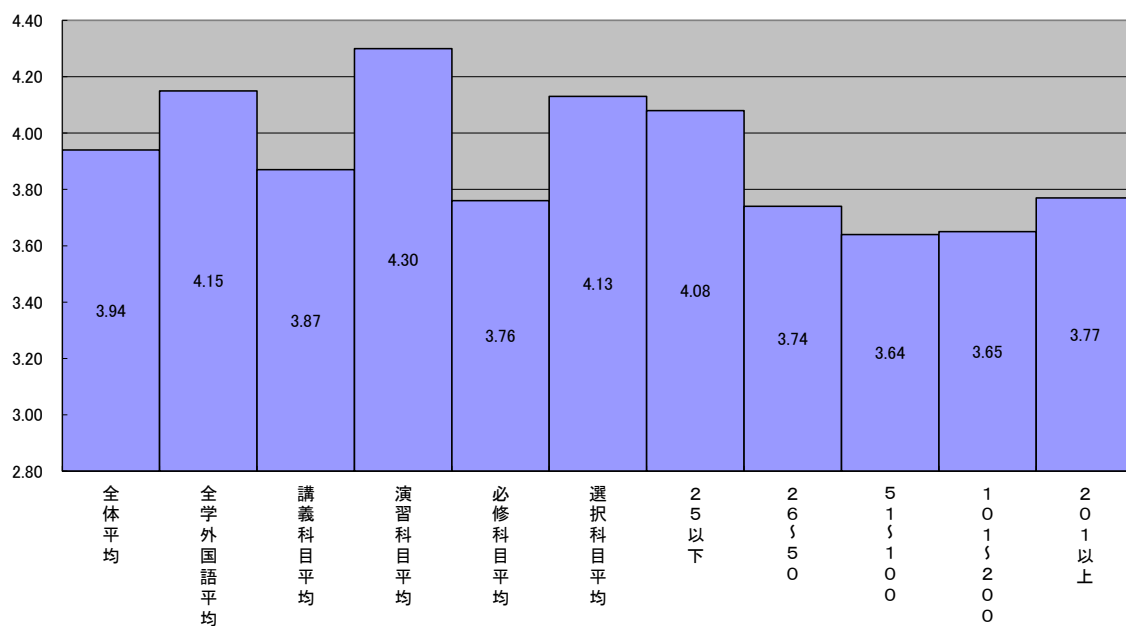


設問 16 授業は全体として満足できるものであった。

	そう思う (評点の4と5の合計)			そうは思わない (評点の1と2の合計)		
	24 前・後	25 前・後	26 前・後	24 前・後	25 前・後	26 前・後
全学教育全体	73.5%	73.9%	75.0%	6.6%	6.5%	6.4%
外 国 語	82.8%	85.1%	84.6%	3.6%	2.7%	2.9%
講 義 科 目	71.2%	71.6%	72.6%	7.2%	7.2%	7.1%
演 習 科 目	86.7%	86.6%	88.2%	2.9%	2.8%	2.3%
必 修 科 目	69.3%	70.0%	68.0%	8.0%	8.2%	9.2%
選 択 科 目	76.7%	77.7%	82.3%	5.4%	4.9%	3.4%



【設問 15～16の合計】



7. 総合評点の度数分布

教員各自の総合評価の位置づけを知るために、度数分布と順位を示した。すなわち、評価を受けた全学教育科目の総合評点度数分布、最高値と最低値、該当科目数のうちの順位、たとえば、評価を受けた科目全体の数 ○○中 ○○位 として、位置づけを明確にしている。また、教員の所属部局を文系・理系に分け、「アンケート実施科目全体」、「文系」または「理系」、並びに「当該科目区分」（第2章に記載した8科目区分）のそれぞれについて、総合評点の度数分布と順位を示した。

度数の幅は評点平均 0.1 でグラフとしている。幅の取り方と関連して、多少の凹凸があるが、全体的には正規分布のグラフとなっている。

〈所属部局による文系・理系区分〉 ※非常勤講師は除く

〈文系部局〉

文学研究科・文学部	公共政策学連携研究部	観光学高等研究センター
教育学研究科・教育学部	スラブ研究センター	外国語教育センター
法学研究科・法学部	国際本部留学生センター	アイヌ・先住民研究センター
経済学研究科・経済学部	高等教育推進機構	社会科学実験研究センター
メディア・コミュニケーション研究院	大学文書館	情報法政策学研究センター

〈理学部局〉

理学研究科・理学部	先端生命科学研究院	北方生物圏フィールド科学センター
医学研究科・医学部	保健科学研究所	創成研究機構
歯学研究科・歯学部	低温科学研究所	人獣共通感染症リサーチセンター
薬学研究科・薬学部	電子科学研究所	環境ナノ・バイオ工学研究センター
工学研究科・工学部	遺伝子病制御研究所	数学連携研究センター
農学研究科・農学部	触媒化学研究センター	サステイナビリティ学教育研究センター
獣医学研究科・獣医学部	情報基盤センター	トポロジー理工学教育研究センター
水産科学研究科・水産学部	アイソトープ総合センター	保健センター
情報科学研究科	総合博物館	環境健康科学研究教育センター
地球環境科学研究院	量子集積エレクトロニクス研究センター	

「平成26年度授業アンケート」 評点平均の度数分布図①

評点平均の度数分布図①（全学教育科目）

「平成26年度（第1学期及び第2学期過半数）全学教育科目に係る授業アンケート」集計表

部局名：○○○○○
授業形態：演習

氏名：○○○○○
科目区分：全学教育科目（一般教育演習）

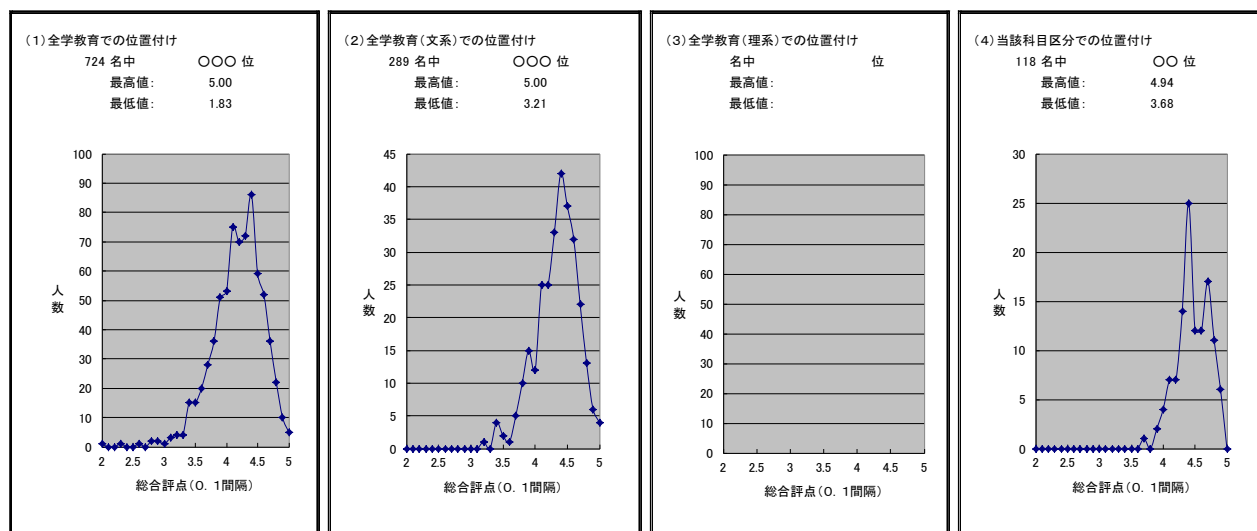
科目名：一般教育演習（フレッシュマンセミナー）（○○○○○○○○○）
必修・選択：選択

提出枚数：○○

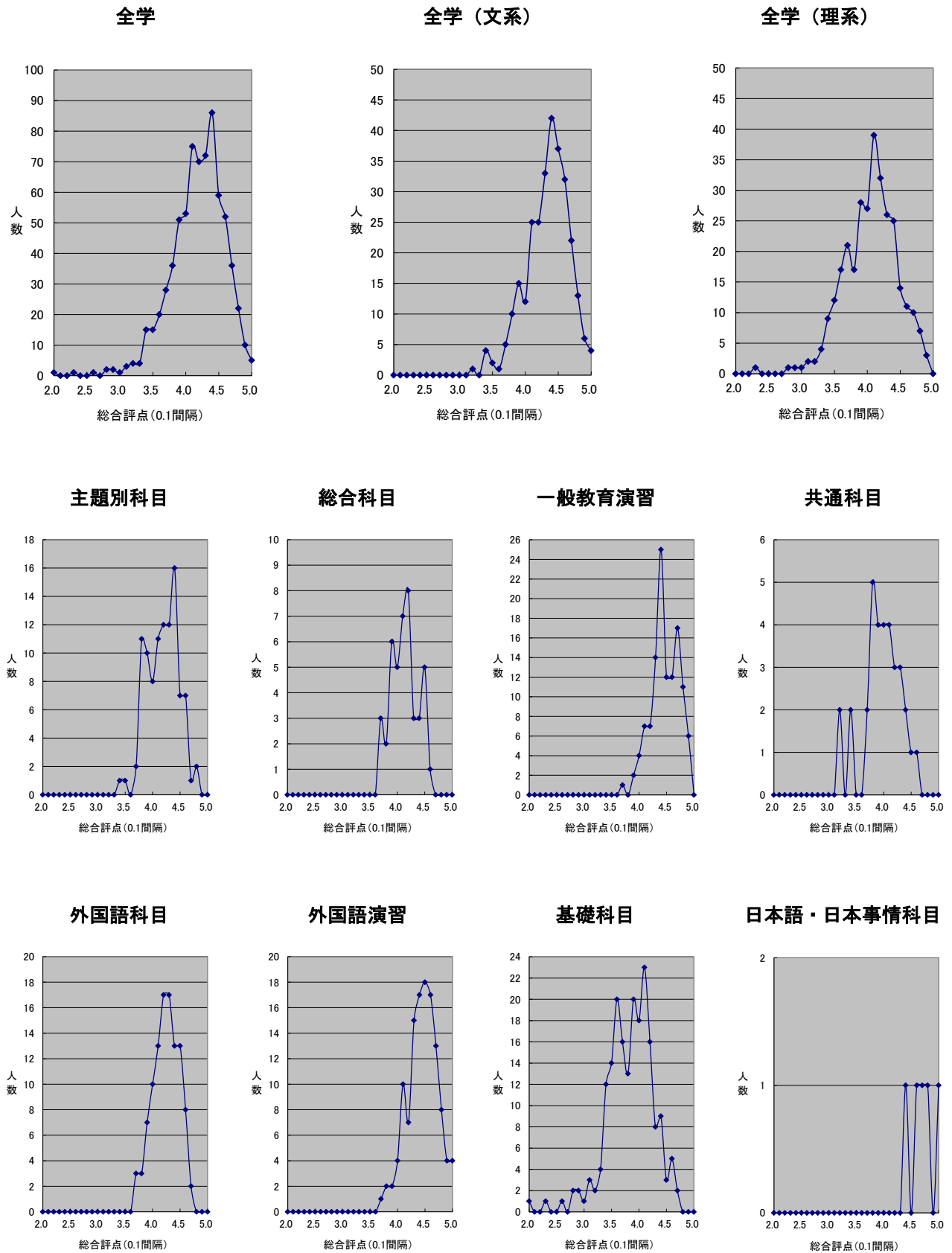
登録学生数：○○人以下

1. あなたの総合評点： 4.36

2. 総合評点の順位



全学教育における度数分布図



8. 分析のための全体集計：平成26年度第1学期及び第2学期実施分

A 授業内容

		全体	外国語	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	ク ラ ス サ イ ズ (人)					「教員の行動」 設問 8, 9 の合計					
		平均	平均					25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200	201 以上	5	4	3	2	1	無回答
1 シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。	5	40.64	45.87	38.65	51.52	35.68	45.84	51.99	43.41	35.87	40.38	38.39						
	4	40.99	40.89	41.57	37.80	41.81	40.12	37.47	41.18	42.09	41.14	41.14						
	3	16.16	11.90	17.39	9.43	19.57	12.58	9.10	13.98	19.10	16.88	17.65						
	2	1.27	1.02	1.35	0.85	1.58	0.94	0.96	1.10	1.51	0.98	1.47						
	1	0.94	0.33	1.04	0.40	1.35	0.52	0.47	0.34	1.42	0.62	1.35						
	無回答	0.34	0.36	0.36	0.24	0.33	0.35	0.35	0.30	0.41	0.34	0.22						
	平均値	4.19	4.31	4.15	4.39	4.09	4.30	4.40	4.26	4.09	4.20	4.14						
2 授業はシラバスにそって行われていた。	5	41.99	48.28	39.98	52.93	37.25	46.96	53.76	45.68	37.40	41.92	37.39						
	4	39.70	39.09	40.26	36.64	40.76	38.58	35.29	39.49	40.89	40.28	40.56						
	3	16.02	11.51	17.26	9.29	18.95	12.96	9.57	13.52	18.63	16.08	18.98						
	2	1.47	0.85	1.59	0.80	1.82	1.10	1.04	1.02	1.77	1.21	1.96						
	1	0.82	0.27	0.91	0.33	1.22	0.41	0.35	0.28	1.31	0.50	1.11						
	無回答	0.29	0.34	0.31	0.18	0.29	0.29	0.27	0.28	0.34	0.25	0.22						
	平均値	4.21	4.34	4.17	4.41	4.11	4.31	4.41	4.29	4.11	4.22	4.11						
3 授業で要求される作業量（レポート、宿題、自習など）は適切であった。	5	41.37	49.08	40.07	48.43	37.91	44.98	48.84	45.49	39.76	37.27	36.90						
	4	33.85	33.24	34.28	31.49	33.82	33.88	33.67	34.06	34.46	33.35	32.67						
	3	18.89	13.38	19.83	13.77	20.27	17.44	13.17	15.93	20.00	20.45	24.01						
	2	4.08	3.44	4.01	4.46	5.27	2.84	3.51	3.62	3.87	5.59	4.21						
	1	1.82	0.86	1.81	1.85	2.73	0.86	0.82	0.90	1.91	3.33	2.20						
	無回答	0.22	0.21	0.21	0.31	0.24	0.20	0.22	0.21	0.24	0.16	0.27						
	平均値	4.09	4.26	4.07	4.20	3.99	4.19	4.26	4.20	4.06	3.96	3.98						
4 授業内容の難易度は適切であった。	A	10.81	6.13	11.56	6.68	13.32	8.17	5.85	8.06	14.37	10.73	10.28	45.19	18.69	21.31	7.93	6.88	0.13
	B	30.65	23.20	31.24	27.42	33.65	27.50	28.26	26.11	34.35	30.47	29.79	28.53	39.15	23.94	6.55	1.84	0.11
	C	53.02	61.97	51.81	59.58	47.32	58.98	60.24	58.13	46.13	54.39	55.34	39.94	29.87	24.89	4.12	1.18	0.10
	D	4.66	7.74	4.54	5.30	4.81	4.51	4.86	6.77	4.23	3.74	3.65	37.17	30.12	22.55	7.34	2.82	0.15
	E	0.87	0.96	0.84	1.02	0.90	0.83	0.79	0.93	0.92	0.66	0.94	40.48	13.29	20.04	5.75	20.44	0.00
	無回答	0.13	0.04	0.14	0.11	0.15	0.12	0.12	0.05	0.13	0.16	0.24	25.81	27.42	30.65	4.84	11.29	20.51
	平均値	3.83	4.10	3.79	4.04	3.66	4.00	4.07	3.98	3.62	3.86	3.88	3.86	3.87	3.89	3.47	2.74	3.76
設問1～4の合計	5	33.69	37.32	32.56	39.88	31.04	36.48	40.10	35.64	31.84	32.57	30.74						
	4	36.29	34.10	36.83	33.34	37.51	35.02	33.67	35.21	37.94	36.31	36.04						
	3	26.03	24.71	26.58	23.03	26.53	25.51	23.03	25.41	25.97	26.96	28.99						
	2	2.87	3.26	2.87	2.85	3.37	2.35	2.59	3.13	2.85	2.88	2.82						
	1	1.11	0.60	1.15	0.90	1.55	0.66	0.61	0.61	1.39	1.28	1.40						
	無回答	0.25	0.24	0.25	0.21	0.25	0.24	0.24	0.21	0.28	0.23	0.24						
	平均値	4.08	4.25	4.04	4.26	3.96	4.20	4.29	4.18	3.97	4.06	4.03						

B 授業手法、教員の行動

		全体 平均	外国語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	ク ラ ス サ イ ズ (人)				
								25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200	201 以上
5 教員の説明はわかりやすかった。	5	37.29	48.37	34.58	52.06	32.96	41.83	52.52	42.62	31.29	33.20	34.96
	4	35.50	35.30	35.72	34.34	34.08	37.00	34.41	35.64	34.04	37.72	37.84
	3	19.41	12.58	20.93	11.18	21.77	16.96	10.61	16.34	22.78	22.16	20.62
	2	5.36	2.97	5.98	1.98	7.47	3.15	2.05	4.13	7.65	5.04	4.69
	1	2.43	0.79	2.79	0.45	3.73	1.07	0.42	1.27	4.24	1.87	1.89
	無回答	0.18	0.10	0.20	0.09	0.20	0.16	0.07	0.14	0.23	0.14	0.24
	平均値	4.00	4.27	3.93	4.36	3.85	4.15	4.37	4.14	3.81	3.95	3.99
6 教員の熱意が伝わってきた。	5	42.43	53.35	40.00	55.68	37.21	47.89	57.73	49.47	35.68	38.49	39.44
	4	33.90	32.64	34.45	30.92	33.50	34.32	30.39	33.40	33.56	36.51	36.14
	3	18.41	11.67	19.70	11.41	21.38	15.31	10.25	14.03	22.52	20.25	19.83
	2	3.56	1.78	3.93	1.58	5.21	1.84	1.38	2.31	5.31	3.49	2.97
	1	1.69	0.56	1.93	0.40	2.71	0.63	0.25	0.79	2.93	1.25	1.62
	無回答	0.07	0.02	0.09	0.00	0.09	0.06	0.00	0.02	0.10	0.07	0.14
	平均値	4.12	4.36	4.07	4.40	3.97	4.27	4.44	4.28	3.94	4.08	4.09
7 教員の話し方は聞き取りやすかった。	5	41.78	53.12	39.01	56.89	36.79	47.01	58.56	47.36	35.09	38.55	38.48
	4	32.93	31.67	33.45	30.11	32.60	33.28	28.84	33.72	32.79	35.81	33.20
	3	18.00	11.97	19.37	10.53	20.25	15.64	10.14	14.59	21.20	19.10	20.88
	2	5.09	2.51	5.66	1.98	6.91	3.19	2.12	3.28	7.35	4.56	5.19
	1	2.19	0.73	2.51	0.49	3.45	0.88	0.35	1.06	3.56	1.98	2.25
	無回答	0.08	0.02	0.09	0.04	0.08	0.08	0.07	0.02	0.13	0.02	0.10
	平均値	4.07	4.34	4.01	4.41	3.92	4.22	4.43	4.23	3.88	4.04	4.00
8 教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。	5	33.70	55.80	29.26	57.90	30.91	36.62	57.31	46.14	24.73	27.71	23.10
	4	29.52	31.07	29.70	28.55	29.70	29.34	27.68	31.63	30.01	29.88	26.82
	3	25.90	10.77	28.59	11.26	27.15	24.60	11.66	16.63	31.15	29.77	34.86
	2	7.80	1.93	8.89	1.87	8.56	7.00	2.88	4.46	9.81	9.19	10.51
	1	3.07	0.42	3.56	0.42	3.68	2.44	0.47	1.15	4.30	3.44	4.71
	無回答	0.11	0.02	0.13	0.02	0.12	0.11	0.00	0.05	0.18	0.09	0.17
	平均値	3.83	4.40	3.72	4.42	3.76	3.91	4.38	4.17	3.61	3.69	3.53
9 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。	5	40.05	55.03	36.31	60.41	37.31	42.92	60.35	49.46	33.86	34.28	29.41
	4	33.21	32.62	33.92	29.38	33.72	32.69	28.85	33.76	34.02	35.15	32.60
	3	22.24	10.93	24.67	8.97	23.45	20.97	9.72	14.34	26.09	25.65	31.73
	2	3.08	1.02	3.47	0.93	3.65	2.47	0.89	1.76	3.99	3.54	4.16
	1	1.43	0.40	1.63	0.31	1.88	0.95	0.20	0.67	2.04	1.39	2.10
	無回答	0.16	0.08	0.18	0.04	0.14	0.18	0.05	0.11	0.17	0.21	0.27
	平均値	4.07	4.41	4.00	4.49	4.01	4.14	4.48	4.30	3.94	3.97	3.83
10 黒板、教科書、プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった。	5	40.34	44.34	38.47	50.56	34.83	46.11	53.28	40.32	35.63	43.52	36.54
	4	34.65	34.82	34.92	33.19	34.03	35.30	31.98	35.75	33.32	37.16	36.56
	3	19.45	17.87	20.44	14.07	23.12	15.61	12.69	19.89	22.62	15.56	21.39
	2	3.82	2.38	4.22	1.63	5.38	2.19	1.65	3.02	5.58	2.58	3.80
	1	1.73	0.60	1.95	0.56	2.64	0.78	0.40	1.02	2.85	1.19	1.72
	無回答	0.23	0.21	0.23	0.20	0.24	0.21	0.17	0.18	0.30	0.09	0.31
	平均値	4.08	4.20	4.04	4.32	3.93	4.24	4.36	4.11	3.93	4.19	4.02
設問5～10の合計	5	39.27	51.67	36.27	55.58	35.00	43.73	56.62	45.90	32.71	35.96	33.66
	4	33.29	33.02	33.69	31.08	32.94	33.65	30.36	33.98	32.96	35.37	33.86
	3	20.57	12.63	22.28	11.23	22.85	18.18	10.84	15.97	24.40	22.08	24.89
	2	4.79	2.10	5.36	1.66	6.20	3.31	1.83	3.16	6.62	4.73	5.22
	1	2.09	0.58	2.40	0.44	3.01	1.13	0.35	0.99	3.32	1.86	2.38
	無回答	0.14	0.07	0.15	0.07	0.15	0.13	0.06	0.09	0.18	0.10	0.21
	平均値	4.03	4.33	3.96	4.40	3.91	4.16	4.41	4.21	3.85	3.99	3.91

C 受講生の行動(1)

		全体 平均	外国語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
11 この授業の自分の出席率は()%程度であった。	100	65.17	68.72	64.08	71.10	67.64	62.58
	80	27.86	27.62	28.25	25.70	25.41	30.41
	60	5.88	3.33	6.43	2.87	6.00	5.76
	40	0.60	0.23	0.67	0.22	0.55	0.65
	20	0.49	0.10	0.56	0.11	0.39	0.60
	無回答	0.11	0.06	0.11	0.09	0.11	0.11
	平均値	4.57	4.65	4.55	4.67	4.59	4.54
12 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	5	21.12	29.76	18.65	34.64	18.95	23.40
	4	30.93	38.45	29.61	38.17	30.69	31.19
	3	34.19	25.32	36.33	22.48	35.67	32.63
	2	9.71	5.33	10.79	3.84	10.40	8.99
	1	4.04	1.14	4.62	0.88	4.29	3.79
	無回答	0.80	0.77	0.76	1.02	0.67	0.94
	平均値	3.55	3.90	3.47	4.02	3.50	3.61
13 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均()であった。	4H以上	5.27	4.27	5.10	6.15	5.51	5.01
	3H	7.27	6.86	6.62	10.84	7.54	7.00
	2H	18.48	23.08	17.66	22.95	20.78	16.06
	1H	30.94	43.31	30.33	34.29	34.33	27.40
	30分以下	38.04	22.48	40.29	25.77	31.85	44.52
	無回答	0.49	0.33	0.49	0.47	0.48	0.49
	平均値	2.11	2.27	2.06	2.37	2.21	2.01
設問11～13の合計	5	30.57	34.29	29.33	37.34	30.75	30.38
	4	22.02	24.29	21.50	24.88	21.21	22.86
	3	19.48	17.22	20.11	16.07	20.79	18.11
	2	13.74	16.29	13.92	12.79	15.08	12.34
	1	14.19	7.91	15.15	8.92	12.17	16.30
	無回答	0.47	0.38	0.45	0.53	0.42	0.52
	平均値	3.41	3.61	3.36	3.69	3.43	3.39

C 受講生の行動(2)

		授業法 平均	学生 参加 平均	難易度						クラスサイズ(人)				
				A	B	C	D	E	無回答	25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200	201 以上
11 この授業の自分の出席率は()%程度であった。	5	4.13	4.03	72.40	62.39	65.43	64.37	60.80	68.75	69.03	69.46	66.13	61.30	57.12
	4	4.03	3.89	22.48	32.55	26.26	28.67	22.80	21.88	27.42	26.26	26.13	30.63	32.01
	3	3.52	3.42	3.71	4.05	7.48	4.74	6.00	6.25	3.08	3.84	6.54	7.00	8.50
	2	3.52	3.39	0.58	0.71	0.45	1.63	0.40	3.13	0.32	0.35	0.64	0.64	1.06
	1	3.04	2.94	0.83	0.30	0.37	0.59	10.00	0.00	0.15	0.09	0.55	0.43	1.30
	無回答	2.81	2.47	0.13	0.06	0.09	0.00	0.79	17.95	0.05	0.07	0.15	0.07	0.17
	平均値	3.55	3.47	18.65	10.79	3.84	10.40	8.99	4.04	2.11	2.27	2.06	2.37	2.21
12 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	5	4.66	4.65	35.70	13.18	22.55	21.44	30.28	24.14	34.78	25.27	16.71	18.93	15.88
	4	4.19	4.12	17.29	35.51	31.23	32.68	13.55	17.24	37.27	35.93	28.77	29.14	25.42
	3	3.80	3.64	25.45	35.52	35.68	30.36	25.50	31.03	22.72	29.67	37.85	36.50	39.64
	2	3.57	3.34	11.60	12.09	7.79	11.62	8.37	17.24	4.09	7.11	11.52	11.38	12.32
	1	3.31	3.03	9.96	3.69	2.74	3.90	22.31	10.34	1.15	2.02	5.16	4.06	6.74
	無回答	3.91	3.76	0.61	0.79	0.76	1.19	0.40	25.64	1.06	0.69	0.76	0.66	0.94
	平均値	4.66	4.65	35.70	13.18	22.55	21.44	30.28	24.14	34.78	25.27	16.71	18.93	15.88
13 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均()であった。	5	4.62	4.63	25.24	3.02	2.78	1.78	6.40	3.23	5.06	4.45	5.28	6.92	4.80
	4	4.08	4.09	6.83	12.35	4.78	4.39	2.40	3.23	9.81	6.20	6.62	8.44	6.72
	3	3.98	3.96	14.79	18.85	19.70	12.79	6.80	22.58	23.42	20.50	18.04	17.74	12.78
	2	4.10	4.03	21.97	31.99	32.24	32.86	16.40	32.26	34.49	38.82	32.78	22.90	20.44
	1	3.98	3.75	31.17	33.80	40.50	48.18	68.00	38.71	27.22	30.03	37.28	43.99	55.27
	無回答	3.70	3.60	0.42	0.55	0.42	0.37	0.79	20.51	0.22	0.55	0.50	0.59	0.51
	平均値	4.28	4.21	44.48	26.27	30.30	29.26	32.49	32.61	36.31	33.12	29.43	29.11	25.98
設問11～13の合計	5	4.28	4.21	44.48	26.27	30.30	29.26	32.49	32.61	36.31	33.12	29.43	29.11	25.98
	4	4.11	4.02	15.54	26.80	20.75	21.89	12.92	14.13	24.80	22.80	20.51	22.75	21.39
	3	3.83	3.72	14.63	19.43	20.92	15.91	12.78	19.57	16.38	17.98	20.78	20.39	20.27
	2	3.97	3.86	11.37	14.91	13.49	15.36	8.39	17.39	12.98	15.41	14.97	11.62	11.26
	1	3.91	3.67	13.98	12.58	14.54	17.57	33.42	16.30	9.52	10.70	14.32	16.14	21.11
	無回答	3.75	3.60	0.38	0.47	0.42	0.52	0.66	21.37	0.44	0.43	0.47	0.44	0.54
	平均値	4.28	4.21	44.48	26.27	30.30	29.26	32.49	32.61	36.31	33.12	29.43	29.11	25.98

D 教育効果(1)

		全体 平均	外国語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
14 シラバスに記載されている到達目標は、() 割程度達成できた。	10	7.60	7.58	7.16	9.98	6.74	8.50
	9	11.67	14.88	10.46	18.24	9.91	13.51
	8	29.20	35.19	27.99	35.79	26.97	31.53
	7	22.50	23.08	22.72	21.31	22.56	22.44
	6	13.29	10.90	14.15	8.62	14.80	11.72
	5	9.38	5.78	10.31	4.29	10.88	7.81
	4	1.93	1.05	2.16	0.70	2.51	1.32
	3	2.10	0.78	2.37	0.61	2.73	1.44
	2	1.32	0.52	1.53	0.18	1.63	1.01
	1	1.01	0.23	1.14	0.27	1.27	0.73
	0	0.37	0.14	0.42	0.09	0.52	0.22
	無回答	1.61	1.14	1.65	1.40	1.67	1.56
	平均値	7.14	7.54	7.02	7.77	6.93	7.36

D 教育効果(2)

		授業法 平均	学生 参加 平均	難易度						クラスサイズ(人)				
				A	B	C	D	E	無回答	25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200	201 以上
14 シラバスに記載されている到達目標は、() 割程度達成できた。	10	4.53	4.43	13.09	3.89	8.06	9.85	26.75	2.06	10.33	7.47	6.90	7.34	6.98
	9	4.44	4.33	7.10	6.98	14.25	22.41	14.81	0.82	17.95	13.62	9.99	10.43	8.18
	8	4.22	4.10	16.85	24.71	33.86	33.53	20.99	2.88	36.05	32.87	25.79	27.82	27.00
	7	4.05	3.91	13.15	26.08	22.75	18.27	9.47	1.65	20.00	22.96	22.17	24.03	22.97
	6	3.86	3.73	13.38	18.74	10.63	7.59	7.00	1.23	9.00	11.93	14.06	14.70	15.55
	5	3.61	3.55	15.05	11.80	7.15	5.11	8.23	1.23	4.78	6.72	11.45	9.72	11.57
	4	3.55	3.51	4.16	2.86	1.03	0.98	0.41	0.82	0.75	1.57	2.64	1.73	1.92
	3	3.36	3.27	6.58	2.64	0.97	0.90	2.47	0.00	0.63	1.21	3.01	2.08	2.38
	2	3.26	3.16	4.22	1.48	0.67	0.83	1.65	0.41	0.28	0.80	1.83	1.11	1.94
	1	2.97	2.99	4.32	0.65	0.51	0.38	6.17	0.00	0.25	0.66	1.53	0.76	1.11
	0	2.72	2.79	2.09	0.18	0.13	0.15	2.06	0.00	0.00	0.20	0.63	0.28	0.42
	無回答	3.66	3.52	2.40	1.17	1.56	1.48	3.57	4.76	1.40	1.15	1.92	1.28	1.81

D 教育効果(3)

		全体 平均	外国語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。	5	29.07	33.31	26.67	42.16	23.31	35.11
	4	36.65	39.82	36.37	38.20	34.43	38.98
	3	25.11	21.29	26.85	15.61	29.91	20.07
	2	5.70	3.72	6.28	2.49	7.57	3.73
	1	3.48	1.86	3.83	1.54	4.78	2.12
	無回答	0.25	0.23	0.28	0.11	0.26	0.24
	平均値	3.82	3.99	3.76	4.17	3.64	4.01
16 授業は全体として満足できるものであった。	5	39.54	50.14	36.33	57.06	32.78	46.63
	4	35.44	34.46	36.24	31.09	35.19	35.71
	3	18.66	12.48	20.33	9.60	22.82	14.31
	2	3.87	1.75	4.32	1.43	5.46	2.21
	1	2.48	1.17	2.78	0.82	3.75	1.15
	無回答	0.26	0.23	0.28	0.11	0.28	0.23
	平均値	4.06	4.31	3.99	4.42	3.88	4.24
設問15～16の合計	5	34.31	41.73	31.50	49.61	28.04	40.87
	4	36.05	37.14	36.31	34.64	34.81	37.34
	3	21.88	16.88	23.59	12.61	26.37	17.19
	2	4.78	2.74	5.30	1.96	6.52	2.97
	1	2.98	1.52	3.31	1.18	4.26	1.63
	無回答	0.26	0.23	0.28	0.11	0.27	0.24
	平均値	3.94	4.15	3.87	4.30	3.76	4.13

D 教育効果(4)

		授業法 平均	学生 参加 平均	難易度						クラスサイズ(人)				
				A	B	C	D	E	無回答	25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200	201 以上
15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。	5	4.67	4.54	36.68	18.83	33.15	31.38	35.06	3.59	44.87	31.25	23.91	27.28	25.90
	4	4.14	3.99	17.89	41.94	37.72	36.35	20.32	3.19	38.40	38.46	33.90	38.71	37.39
	3	3.63	3.54	21.20	28.33	24.44	21.96	16.73	3.59	13.85	22.89	29.67	25.20	27.25
	2	3.21	3.22	10.63	7.82	3.24	7.64	8.37	1.59	1.97	4.94	7.43	5.80	5.78
	1	2.56	2.66	13.59	3.08	1.46	2.67	19.52	0.80	0.91	2.46	5.09	3.01	3.68
	無回答	3.34	3.27	0.57	0.12	0.22	0.15	0.40	2.78	0.12	0.41	0.22	0.16	0.34
	平均値	4.69	4.52	39.45	26.24	46.83	44.18	40.64	5.18	59.21	45.84	32.28	35.24	35.05
16 授業は全体として満足できるものであった。	5	4.01	3.86	17.67	44.75	34.01	35.29	17.93	2.39	30.43	35.07	35.31	38.89	37.59
	4	3.36	3.33	21.59	21.86	16.69	14.31	12.35	3.19	8.66	14.95	23.13	19.95	20.60
	3	2.78	2.96	10.41	5.27	1.62	4.45	7.57	0.40	1.14	2.62	5.55	3.74	4.04
	2	1.98	2.27	10.89	1.88	0.85	1.78	21.51	0.80	0.57	1.52	3.73	2.19	2.71
	1	3.25	3.16	0.57	0.15	0.21	0.07	0.40	3.57	0.12	0.41	0.23	0.14	0.36
	無回答	4.55	4.41	30.37	18.96	29.10	26.97	28.11	23.81	52.04	38.54	28.10	31.26	30.47
	平均値	4.06	3.92	13.24	29.92	24.32	24.29	12.99	15.24	34.42	36.77	34.60	38.80	37.49
設問15～16の合計	5	3.51	3.45	16.45	17.65	14.07	12.43	10.58	16.19	11.25	18.92	26.40	22.57	23.93
	4	3.07	3.12	8.41	4.86	1.85	4.32	5.89	5.71	1.55	3.78	6.49	4.77	4.91
	3	2.41	2.57	9.59	1.87	0.94	1.61	15.80	3.81	0.74	1.99	4.41	2.60	3.19
	2	3.66	3.52	0.80	0.39	0.52	0.49	1.19	10.26	0.12	0.41	0.23	0.15	0.35

全体集計1(1) アンケート回答数全体の平均

		全体 平均	外国語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
設問1～2, 5～10, 15～16の平均値	回答数	29,009	5,221	24,514	4,495	14,838	14,171
	平均値1	4.04	4.29	3.98	4.38	3.92	4.18
	標準偏差	0.4048	0.2735	0.3921	0.2637	0.4198	0.3228

全体集計1(2) 授業毎平均値の平均

		全体 平均	外国語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
設問1～2, 5～10, 15～16の平均値	授業数	724	228	482	242	307	417
	平均値2	4.18	4.35	4.04	4.45	3.98	4.32
	標準偏差	0.4715	0.3447	0.4679	0.3382	0.4887	0.3993

全体集計2

		職（人）					授業の形態（人）		必修・選択（人）		アンケート 提出枚数（枚）	
		教授	准教授	講師	助教	非常勤	講義	演習	必修	選択		
全 体		267	267	16	49	125	482	242	307	417	29,009	
外国語		56	85	2	12	73	101	127	102	126	5,221	
所 属 部 局	文学研究科・文学部	01	31	31	0	6	0	48	20	5	63	3,079
	教育学研究科・教育学部	02	4	8	1	0	0	8	5	2	11	764
	法学研究科・法学部	03	10	3	2	3	0	8	10	3	15	722
	経済学研究科・経済学部	04	7	7	0	9	0	22	1	3	20	737
	理学研究科・理学部	05	59	41	7	13	1	109	12	95	26	6,324
	医学研究科・医学部	06	2	1	1	4	0	3	5	0	8	460
	歯学研究科・歯学部	07	1	3	0	1	0	1	4	0	5	146
	薬学研究科・薬学部	08	1	5	0	0	0	3	3	3	3	222
	工学研究科・工学部	09	16	21	0	2	0	25	14	15	24	1,495
	農学研究科・農学部	10	5	7	2	1	0	11	4	6	9	560
	獣医学研究科・獣医学部	11	4	1	0	0	0	3	2	1	4	217
	水産科学研究科・水産学部	12	8	3	0	0	0	7	4	1	10	541
	情報科学研究科	37	6	9	0	0	0	11	4	4	11	1,084
	地球環境科学研究院	14	12	14	0	0	0	23	3	21	5	1,339
	先端生命科学研究院	42	3	2	0	3	0	7	1	4	4	411
	メディア・コミュニケーション研究院	44	49	66	0	0	0	58	57	56	59	3,087
	保健科学研究院	48	4	2	0	0	0	1	5	1	5	162
	公共政策学連携研究部	38	3	1	1	0	0	3	2	1	4	182
	低温科学研究所	16	3	2	0	0	0	2	3	1	4	200
	電子科学研究所	17	4	2	0	3	0	6	3	4	5	280
	遺伝子病制御研究所	18	4	1	0	0	0	3	2	1	4	292
	触媒化学研究センター	19	5	0	0	0	0	3	2	2	3	170
	スラブ研究センター	20	0	1	0	1	0	1	1	0	2	67
	情報基盤センター	36	3	1	0	0	0	2	2	1	3	347
	アイソトープ総合センター	22	1	0	0	0	0	1	0	0	1	21
	国際本部	26	5	17	1	2	0	7	18	4	21	335
	高等教育推進機構	29	3	13	0	1	0	4	13	0	17	402
	総合博物館	32	1	0	1	0	0	1	1	0	2	61
	量子集積エレクトロニクス研究センター	27										
	北方生物圏フィールド科学センター	35	8	3	0	0	0	4	7	1	10	282
	創成研究機構	54										
	人獣共通感染症リサーチセンター	40	1	0	0	0	0	1	0	0	1	43
	大学図書館	41										
	観光学高等研究センター	43	1	0	0	0	0	1	0	0	1	86
	外国語教育センター	45										
	アイヌ・先住民研究センター	46	1	1	0	0	0	1	1	0	2	93
	社会科学実験研究センター	47										
	情報法政策学研究センター	49										
	環境ナノ・バイオ工学研究センター	50										
	数学連携研究センター	51										
	サステイナビリティ学教育研究センター	52	1	0	0	0	0	0	1	0	1	17
	トポロジー理工学教育研究センター	53										
	保健センター	33	1	0	0	0	0	1	0	0	1	215
	環境健康科学研究教育センター	55										
	非常勤講師（全学教育科目）	99	0	1	0	0	124	93	32	72	53	4,566

全体集計3

設問	平均	全体平均				外国語平均			
		講義	演習	必修	選択	講義	演習	必修	選択
1	4.19	4.15	4.39	4.09	4.30	4.24	4.41	4.25	4.41
2	4.21	4.17	4.41	4.11	4.31	4.29	4.42	4.29	4.42
3	4.09	4.07	4.20	3.99	4.19	4.20	4.35	4.20	4.36
4	3.83	3.79	4.04	3.66	4.00	4.06	4.15	4.06	4.15
5	4.00	3.93	4.36	3.85	4.15	4.21	4.37	4.21	4.38
6	4.12	4.07	4.40	3.97	4.27	4.34	4.40	4.34	4.40
7	4.07	4.01	4.41	3.92	4.22	4.29	4.41	4.30	4.41
8	3.83	3.72	4.42	3.76	3.91	4.37	4.44	4.38	4.43
9	4.07	4.00	4.49	4.01	4.14	4.37	4.47	4.37	4.46
10	4.08	4.04	4.32	3.93	4.24	4.14	4.28	4.15	4.28
15	3.82	3.76	4.17	3.64	4.01	3.87	4.16	3.87	4.17
16	4.06	3.99	4.42	3.88	4.24	4.23	4.42	4.23	4.43
平均	4.03	3.97	4.33	3.90	4.17	4.22	4.36	4.22	4.36
11	4.57	4.55	4.67	4.59	4.54	4.68	4.60	4.68	4.59
12	3.55	3.47	4.02	3.50	3.61	3.86	3.96	3.86	3.98
13	2.11	2.06	2.37	2.21	2.01	2.26	2.29	2.28	2.26
平均	3.41	3.36	3.69	3.43	3.39	3.60	3.62	3.61	3.61